

第252回「地域の会」定例会資料〔前回定例会以降の動き〕

【不適合関係】

- ・5月9日 不適合情報 [P. 3]
- ・5月9日 核物質防護に関する不適合情報 [P. 4]
- ・5月10日 4号機海水熱交換器建屋（非管理区域）における海水の漏えいについて（区分：Ⅲ） [P. 6]
- ・5月23日 6号機タービン建屋（管理区域）におけるけが人の発生について（区分：Ⅲ） [P. 7]
- ・5月24日 7号機タービン建屋（管理区域）における油漏れについて（区分：Ⅲ） [P. 8]
- ・5月30日 6号機廃棄物処理建屋（管理区域）における水たまりの発見について（区分：Ⅲ）（続報） [P. 9]

【発電所に係る情報】

- ・5月9日 燃料装荷後の健全性確認の進捗について [P. 10]
- ・5月9日 原子力改革監視委員会新委員チャールズ・カスター氏によるオペレーション等に関するレビュー [P. 11]
- ・5月15日 6号機の「設計及び工事計画認可申請の補正書」（第2回）の提出について [P. 12]
- ・5月15日 当社原子力発電所における原子力規制庁による2023年度第4四半期実施計画検査および原子力規制検査の結果について [P. 13]
- ・5月21日 柏崎刈羽原子力発電所、福島第二原子力発電所、東通原子力建設所の保安規定変更認可について [P. 15]
- ・5月21日 柏崎刈羽原子力発電所の保安規定変更認可について [P. 16]
- ・5月23日 燃料装荷後の健全性確認の進捗について [P. 17]
- ・6月3日 地震発生後のプラント状況について（第1報～第7報（最終報）） [P. 18]

【その他】

- ・5月16日 人事通知 [P. 32]
- ・5月29日 組織改編について [P. 33]
- ・5月30日 人事通知 [P. 35]
- ・5月31日 燕市・三条市・新発田市・聖籠町における「東京電力コミュニケーションブース」の開設について [P. 38]
- ・6月5日 柏崎刈羽原子力発電所に関するコミュニケーション活動等の取り組み [P. 39]

【7号機の健全性確認について（ホームページ掲載）】

・5月9日	[P. 42]
・5月17日	[P. 43]
・5月20日	[P. 44]
・5月21日	[P. 45]
・5月22日	[P. 46]
・5月24日	[P. 47]
・5月29日	[P. 48]
・5月31日	[P. 49]
・6月3日	[P. 50]

【福島第一原子力発電所に関する主な情報】

・5月30日	福島第一原子力発電所の廃止措置等に向けた中長期ロードマップの 進捗状況	[別紙]
--------	--	------

<参考>

当社原子力発電所の公表基準（平成15年11月策定）における不適合事象の公表区分について

区分：Ⅰ 法律に基づく報告事象等の重要な事象

区分：Ⅱ 運転保守管理上重要な事象

区分：Ⅲ 運転保守管理情報の内、信頼性を確保する観点からすみやかに詳細を公表する事象

その他 上記以外の不適合事象

以 上

東京電力ホールディングス(株) 柏崎刈羽原子力発電所

不適合情報

2024年5月8日(水)にパフォーマンス向上会議で確認した不適合事象は、下記のとおりです。

なお、パフォーマンス向上会議で確認した事象の内容から、確認時点で想定する対応(点検、修理、調査等)などを付記しております。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

不適合グレードについては以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/inside/pdf/image1.pdf

1. GⅠグレード 0件

2. GⅡグレード 0件

3. GⅢグレード 11件

NO.	号機等	不適合事象	発見日	備考
1	1号機	コントロール建屋非放射性ストームドレン系排水槽の移送ドレン弁排水配管に詰まりを確認した。当該配管を点検・清掃。	2024/04/24	
2	3号機	電解鉄イオン注入系電解槽入口ストレーナ差圧計に指針のずれを確認した。当該差圧計を点検・調整し復旧済み。	2024/04/17	
3	5号機	換気空調補機非常用冷却水系冷凍機(B)蒸発器冷媒液位計仕切弁の弁棒付け根部に、潤滑油および冷媒の微量な漏えいを確認した。当該仕切り弁を修理。	2024/04/22	
4	5号機	サービス建屋入口玄関ポーチ天井に、雨漏れを確認した。当該箇所を点検・修理。	2024/04/24	
5	5号機	廃棄物処理設備制御室において、高電導度廃液系濃縮装置加熱器(B)操作画面の所内蒸気側蒸気出口弁開表示に動作不良を確認した。当該事象の原因を調査し修理。	2024/04/25	
6	5号機	雑固体焼却設備排ガスブロワの振動診断において、高速運転時にブリー側軸受および反ブリー側軸受の振動速度が上昇し管理限界域に到達していることを確認した。排ガスブロワを補助ブロワに切り替え。当該事象の原因を調査し修理。	2024/04/25	
7	5号機	サービス建屋(管理区域)地下中2階階段室に、誘導灯(1箇所)の不点灯を確認した。当該誘導灯を交換。	2024/04/26	
8	5号機	6号機工事認可資料準備の一環として電路の確認を実施していたところ、5号機原子炉建屋3階(非管理区域)において、可搬型モニタリングポストおよび可搬型気象観測装置の電源ケーブル(1本)が、火災防護区画から一部外れて敷設されていることを確認した。感知機能の代替としてカメラによる監視を実施。当該事象の原因を調査し対応策を検討。	2024/05/01	
9	7号機	原子炉建屋地下2階(管理区域)のケーブルトレイ消火設備感知チューブ内の圧力が低下していることを確認した。チューブ内を再加圧し低下状況を継続監視し点検・修理。なお、消火設備の機能に影響なし。	2024/04/26	
10	7号機	制御棒駆動系水圧制御ユニットのアクュームレータ充填水補給作業において、計装配管継手部に窒素ガスの漏えいを確認した。当該事象の原因を調査し継手部を交換。	2024/04/26	
11	7号機	使用済燃料プール内において燃料の配置確認作業を行っていたところ、使用済燃料ハンドル上に輪状のくず(直径約0.5cm)を発見した。回収した結果、機器または天井・壁面等で使用している塗膜片または錆のようなものと推定。脆い物質であり燃料・機器に影響を与えるようなものではないと判断。	2024/04/26	

東京電力ホールディングス(株) 柏崎刈羽原子力発電所

核物質防護に関する不適合情報

2024年4月23日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてご覧ください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

1. 公表区分Ⅰ 0件
2. 公表区分Ⅱ 0件
3. 公表区分Ⅲ 0件
4. 公表区分その他 5件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	核物質防護上の扉が正常に動作しなくなり、その後自然復旧したことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2023/9/27	
2	監視カメラの映像が、映らないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2024/1/25	
3	監視カメラのログが、一時的に正常に表示されなくなることを確認した。 調査の結果、当該事象は不具合ではなく、プログラムの仕様に沿った動作であり、監視機能は維持されていることから、プログラムの修正は不要と判断した。	2024/2/29	
4	監視用の照明が、正常に点灯しないことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該照明器具を交換し、正常な状態に復旧した。	2024/3/15	
5	監視カメラの映像が映らなくなり、その後自然復旧したことを確認した。 監視機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。	2024/3/31	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

核物質防護に関する不適合情報

2024年5月7日(火)までにパフォーマンス向上会議で確認した核物質防護に関する不適合事象は、下記のとおりです。
 ※核物質防護措置に関わる情報のため、事象の概要のみ、お知らせさせていただきます。

◆ 不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。
 法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

核物質防護に関わる不適合の公表方針・公表基準については以下のURLをクリックしてください。

https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/pp/pdf/policy.pdf

- 1. 公表区分Ⅰ 0件
- 2. 公表区分Ⅱ 0件
- 3. 公表区分Ⅲ 3件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器の遠隔による動作チェックが、正常に終了しないことを確認した。 調査の結果、作業上の不備であったことから、手順書を修正の上、当該検知器を正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/10/17	
2	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、作業上の不備であったことから、手順書を修正の上、当該検知器を正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2023/10/17	
3	侵入検知器が、不法行為等がないにも関わらず動作し続けることを確認した。 調査の結果、作業上の不備であったことから、手順書を修正の上、当該検知器を正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の監視機能は、代替措置にて維持した。	2023/10/18	

4. 公表区分その他 8件

NO.	不適合事象	発見日	備考
1	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 検知機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を修理し、正常な状態に復旧した。	2022/12/16	
2	核物質防護上の扉の一部機能が、正常に動作しないことを確認した。 障壁機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中は当該扉を封鎖した。	2023/8/19	
3	核物質防護用発電設備の燃料貯蔵庫入口扉が、正常に施錠できないことを確認した。 発電機能は維持。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。	2023/12/11	
4	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/3/5	
5	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 調査の結果、設備面の不具合であったことから、当該不具合箇所を交換し、正常な状態に復旧した。 なお、不具合発生期間中の検知機能は、代替措置にて維持した。	2024/3/15	
6	侵入検知器が、正常に動作しないことを確認した。 検知機能は維持。	2024/3/15	
7	調査の結果、ソフトウェアの不具合であったことから、プログラムを修正し正常な状態に復旧した。	2024/3/28	
8	地域の方から、発電所構外にて入構証を拾得したとの連絡があり、当社社員が当該入構証を紛失していたことを確認した。 調査の結果、入構証の取り扱いルールが厳密には守られていなかったことから、当該社員および関係者へ入構証の取り扱いルールについて再教育を行った。 なお、入構証は当該社員に返却され、不正使用も確認されなかった。	2024/3/26	

※核物質防護に関する不適合情報は、対策を行った後、防護上の安全が確認された段階でお知らせしております。
 このため、発生から公表までに時間を要する不適合もございます。

区分：Ⅲ

号機	4号機	
件名	海水熱交換器建屋（非管理区域）における海水の漏えいについて	
不適合の概要	<p>2024年5月10日午前10時46分頃、4号機海水熱交換器建屋地下2階において、電解鉄イオン供給装置*の配管接続部からのにじみ補修作業の際に、約700Lの海水が漏えいしました。なお、外部への放射能の影響はありません。</p> <p>その後、同装置の運転を停止し、漏えい箇所を隔離したことにより午前11時00分に漏えいは停止しています。</p> <p>*電解鉄イオン供給装置 熱交換器伝熱管内部の腐食を防止するために、被膜を形成する装置</p>  <p style="text-align: center;">漏えい箇所</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>確認の結果、予定していた箇所とは異なる配管接続部を取り外したことにより、海水漏えいに至ったものです。今後詳細について確認してまいります。</p>	

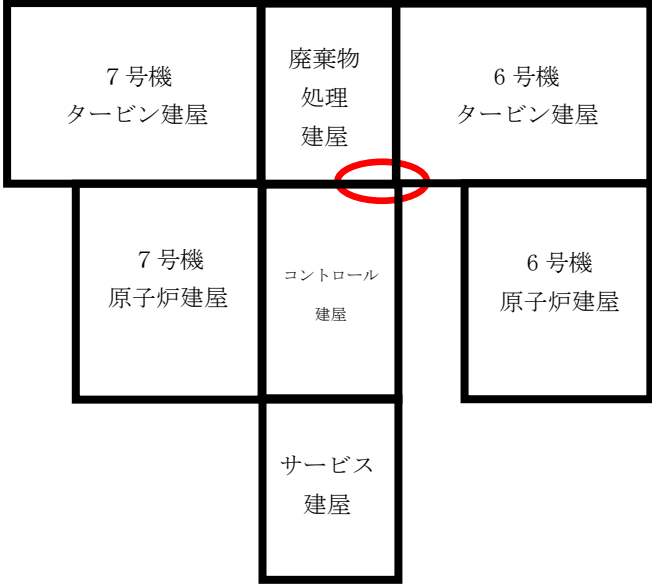

区分：Ⅲ

<p>号機</p>	<p>6号機</p>	
<p>件名</p>	<p>タービン建屋（管理区域）におけるけが人の発生について</p>	
<p>不適合の概要</p>	<p>2024年5月21日午後2時30分頃、6号機タービン建屋地下1階東側通路エリア（管理区域）において、6号機安全対策工事に従事していた協力企業作業員が、足場から降りた際に右足首を捻りました。5月22日、右足首の痛みが引かないことから、病院で診察を受けました。</p> <p>なお、本人に身体汚染はありません。</p>  <p>けがの発生状況 （足場から降りた際に右足首を負傷）</p>	
<p>安全上の重要度／損傷の程度</p>	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / <u>その他</u></p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要 <input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要 <input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
<p>対応状況</p>	<p>病院で診察の結果、「右足関節捻挫」、「右足外側靭帯損傷」（通院加療）と診断されました。</p> <p>今回の事例を踏まえ、発電所関係者に周知し注意喚起を行うとともに、再発防止に努めてまいります。</p>	

区分：Ⅲ

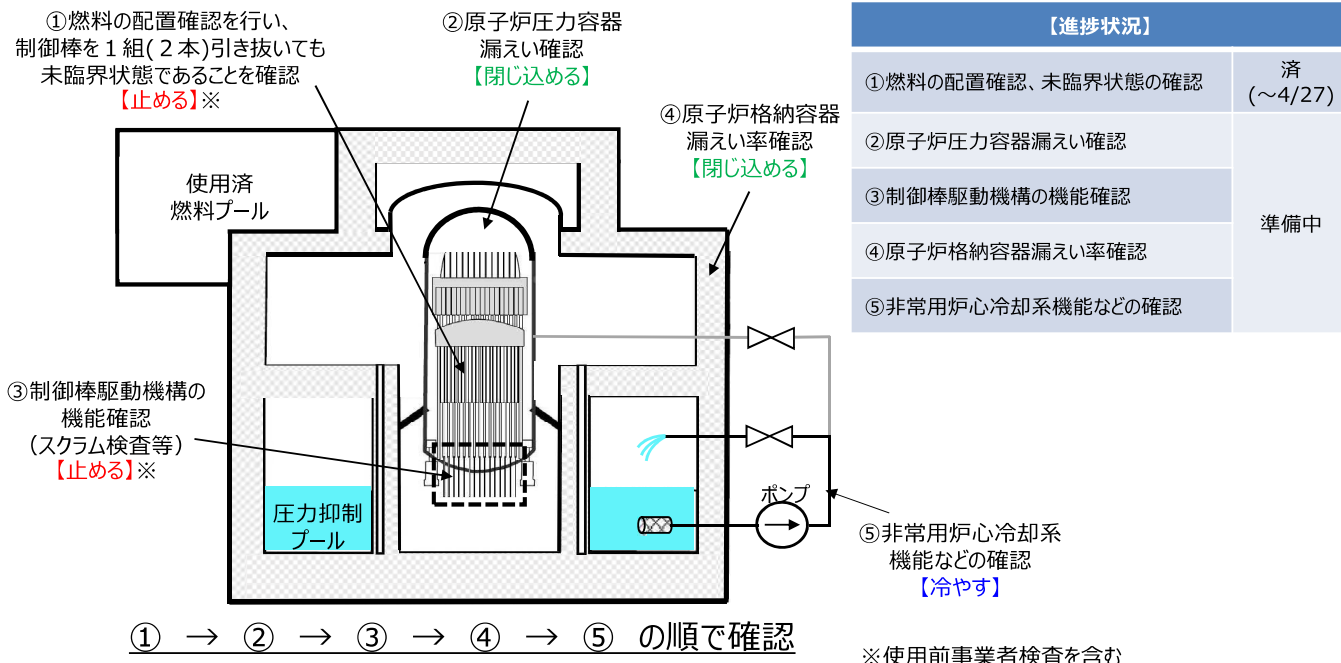
号機	7号機	
件名	タービン建屋（管理区域）における油漏れについて	
不適合の概要	<p>2024年5月24日午前10時44分頃、7号機タービン建屋2階主タービンエリアにおいて、主タービンの軸受に潤滑油を供給するポンプの運転状態の確認作業中に、当社社員が当該設備の計器を収納する箱内とその下部に、潤滑油が漏れいしていることを確認しました。</p> <p>その後、午後0時00分に消防署へ連絡し、現場を確認していただいた結果、合計約30リットルの危険物の漏えいと判断されました。</p> <p>なお、現在潤滑油の漏えいは停止しており、漏えいしている潤滑油は拭き取りを実施しております。</p> <p>また、漏れた油に放射性物質は含まれておらず、外部への放射能の影響はありません。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p><計器を収納する箱の内部></p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p><計器を収納する箱の下部></p>  </div> </div> <p style="text-align: center; color: red;">潤滑油漏えい箇所</p>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>今後、潤滑油が漏れいした原因調査を実施し、再発防止対策を講じてまいります。</p>	

区分：Ⅲ

号機	6号機	
件名	廃棄物処理建屋（管理区域）における水たまりの発見について（続報）	
不適合の概要	<p>2024年5月29日午後0時00分頃、協力企業社員が廃棄物処理建屋地下2階の建屋間連絡通路にて、水たまりがあることを発見しました。</p> <p>現場を調査した結果、水の量は約400リットル（通路幅2m×長さ20m×深さ1cm）であり、その水に放射性物質は含まれておりませんでした。</p> <p>当該水たまりはそのエリアにとどまっており、他のエリアへの拡がりはなく、設備への影響はありません。</p> <p>なお、本件は、2024年2月16日にお知らせした水たまりの発見と同一箇所での事案となります。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;"> <p>水たまり箇所</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p><現場写真></p>  </div> </div>	
安全上の重要度／損傷の程度	<p><安全上の重要度></p> <p>安全上重要な機器等 / その他</p>	<p><損傷の程度></p> <p><input type="checkbox"/> 法令報告要</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 法令報告不要</p> <p><input type="checkbox"/> 調査・検討中</p>
対応状況	<p>2月の水たまりの原因については、結露水または雨水等による影響か判断材料に乏しく、まとまった雨が降った際の影響を適宜、調査してきました。</p> <p>今回の水たまりは、5月28日にまとまった降水があったことから、雨水浸入の可能性が高いと判断し、引き続き調査のうえ、原因の特定と再発防止策を検討してまいります。</p>	

燃料装荷後の健全性確認の進捗について

- 4月15日から実施していた燃料装荷については、4月26日までに完了
- 4月27日までに燃料の配置確認や、制御棒を1組（2本）抜いても未臨界状態であることの確認を実施
- その他の健全性確認実施に向け、原子炉の蓋を閉じる作業等、原子炉復旧作業を実施中



- 日 程：2024年 5月13日（月）～ 17日（金）
- 場 所：東京電力HD 柏崎刈羽原子力発電所
- 概 要：元米国原子力規制委員会（NRC）のチャールズ・カストー委員をチームリーダーとした社内外の専門家によるレビューチームにより、オペレーション（運転員の力量）を中心に、メンテナンス（設備保全）、緊急時対応等についてレビューを実施

【チャールズ・カストー氏の略歴】



- カストー・グループ・コンサルティング（安全・危機管理リーダーシップのコンサルタント）社長（2013年 - 現在）
- 68歳（1955年生まれ）
- アミール・シャカラム氏の後任として2024年4月から原子力改革監視委員会委員に就任

【職務要約】

- 安全・規制のプロフェッショナルとして45年以上の経歴を持ち、行政、規制、技術、経営の分野において責任ある地位に就任した経験を持つ。
- 元米国原子力規制委員会（NRC）上級幹部職員（Senior Executive Service、1985-2013年）
- NRCでは、ブラウンス・フェリー原子力発電所（アラバマ州）1 - 3号の再稼働監視会委員ほか、原子力発電所建設査察監視長、地方局行政官を歴任。
- 現在、5つの原子力安全諮問委員会（NSRB）にコンサルタントとして従事し、うち、米国サザン・ニュークリアのボーグル原子力発電所3 - 4号、及びアラブ首長国連邦のバラカ原子力発電所1 - 4号において会長を勤める。
- 福島第一原子力事故後、NRCの主幹として、11ヶ月間滞在し、米国からの日本への支援の重要なパイプ役を担務。

TEPCO

柏崎刈羽原子力発電所 6 号機の「設計及び工事計画認可申請の補正書」(第 2 回)の
提出について

2024 年 5 月 15 日
東京電力ホールディングス株式会社

当社は、柏崎刈羽原子力発電所 6 号機の「設計及び工事計画認可申請の補正書」(第 2 回)を、本日、原子力規制委員会へ提出しました。

「設計及び工事計画認可申請」については、原子力規制委員会に対して 2013 年 9 月に申請し、その後 2023 年 9 月に、各設備の基本設計方針、機器の仕様や耐震・強度に関する評価結果等を反映するとともに、工事工程表の見直しをした補正書を提出しております。

(2023 年 9 月 4 日お知らせ済み)

今回の補正申請は、大物搬入建屋建て替えの耐震計算書等について、詳細な設計が固まったことから、その内容を反映し提出するものです。

当社は、引き続き原子力規制委員会における審査に真摯かつ丁寧に対応するとともに、福島第一原子力発電所の事故から得られた教訓を踏まえ、更なる安全性と信頼性の向上に努めてまいります。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 原子力報道グループ 03-6373-1111 (代表)

当社原子力発電所における原子力規制庁による
2023 年度第 4 四半期実施計画検査および原子力規制検査の結果について

2024 年 5 月 15 日
東京電力ホールディングス株式会社

本日の原子力規制委員会において、原子力規制庁が実施した当社原子力発電所における 2023 年度第 4 四半期実施計画検査および原子力規制検査の結果が報告され、福島第一原子力発電所および柏崎刈羽原子力発電所に関する事案について、以下判定を受けました。

<福島第一原子力発電所（実施計画検査）>

- ・高温焼却炉建屋からの放射性物質を含む水の漏えい^{※1}
・・・違反区分：軽微な違反（監視）^{※2}

<柏崎刈羽原子力発電所（原子力規制検査）>

- ・柏崎刈羽原子力発電所 7 号機 工事を行う場合のアクセスルートに対する不十分な影響評価によるアクセスルートの確保失敗^{※3}
・・・安全上の重要度：緑^{※4} 違反の深刻度レベル：－^{※5}

当社は、今回の事案を踏まえた再発防止策を検討し、実施するとともに、他作業への水平展開を通じて安全確保に万全を尽くしてまいります。

※1 2024 年 2 月 7 日に発生。同日お知らせ済み。

※2 違反区分「軽微な違反（監視）」

実施計画の違反区分は原子力安全に及ぼす影響の程度に応じて「違反」「軽微な違反（監視）」に区分される。このうち、軽微な違反（監視）は、原子力安全に影響はあるが軽微なものであり、事業者自身の改善処置による改善が見込まれるものとなる。

※3 2024 年 2 月 8 日に発生。2024 年 2 月 22 日お知らせ済み。

※4 安全上の重要度「緑」

「安全上の重要度」は、原子力施設の安全確保に対する劣化の程度により「赤」「黄」「白」「緑」の順に区分される。重要度「緑」は、安全確保の機能または性能への影響があるが、限定的かつ極めて小さなものであり、事業者の改善措置活動により改善が見込める水準のものに適用される。

※5 違反の深刻度レベル「－」

「違反の深刻度レベル」は、違反の深刻度に応じて「SL I」「SL II」「SL III」「SL IV」(SL:Severity Level)の順に区分され、深刻度「－」は、深刻度の評価を実施していないこと。本検査指摘事項においては、検査指摘事項に対応する保安規定第 17 条の 7（重大事故等発生時の体制の整備）の規定について、原子力検査官が現場確認した時点（2023 年 12 月 27 日）では適用されていないため、法令違反には該当しないと判断され、深刻度の評価を実施していない。

以 上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 原子力報道グループ 03-6373-1111（代表）

柏崎刈羽原子力発電所、福島第二原子力発電所、東通原子力建設所の
保安規定変更認可について

2024年5月21日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、2024年2月21日に、柏崎刈羽原子力発電所、福島第二原子力発電所、東通原子力建設所の保安規定における本社調達組織の名称を「原子力資材調達センター」から「調達部」に変更する保安規定変更認可申請書を、原子力規制委員会に提出しております。

(2024年2月21日お知らせ済み)

本日、同委員会より本申請について認可をいただきましたので、お知らせいたします。

当社は、引き続き同委員会による審査に真摯かつ丁寧に対応するとともに、福島第一原子力発電所の事故から得られた教訓を踏まえ、更なる安全性、信頼性の向上に努めてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 原子力報道グループ 03-6373-1111 (代表)

柏崎刈羽原子力発電所の保安規定変更認可について

2024年5月21日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、2024年2月21日に、柏崎刈羽原子力発電所において、今後の空調設備点検や建物補修等を速やかに実施できるようにするため、1号機～5号機のタービン建屋屋上、及び固体廃棄物貯蔵庫屋上の管理区域を解除する保安規定変更認可申請書を、原子力規制委員会に提出しております。

(2024年2月21日お知らせ済み)

本日、同委員会より本申請について認可をいただきましたので、お知らせいたします。

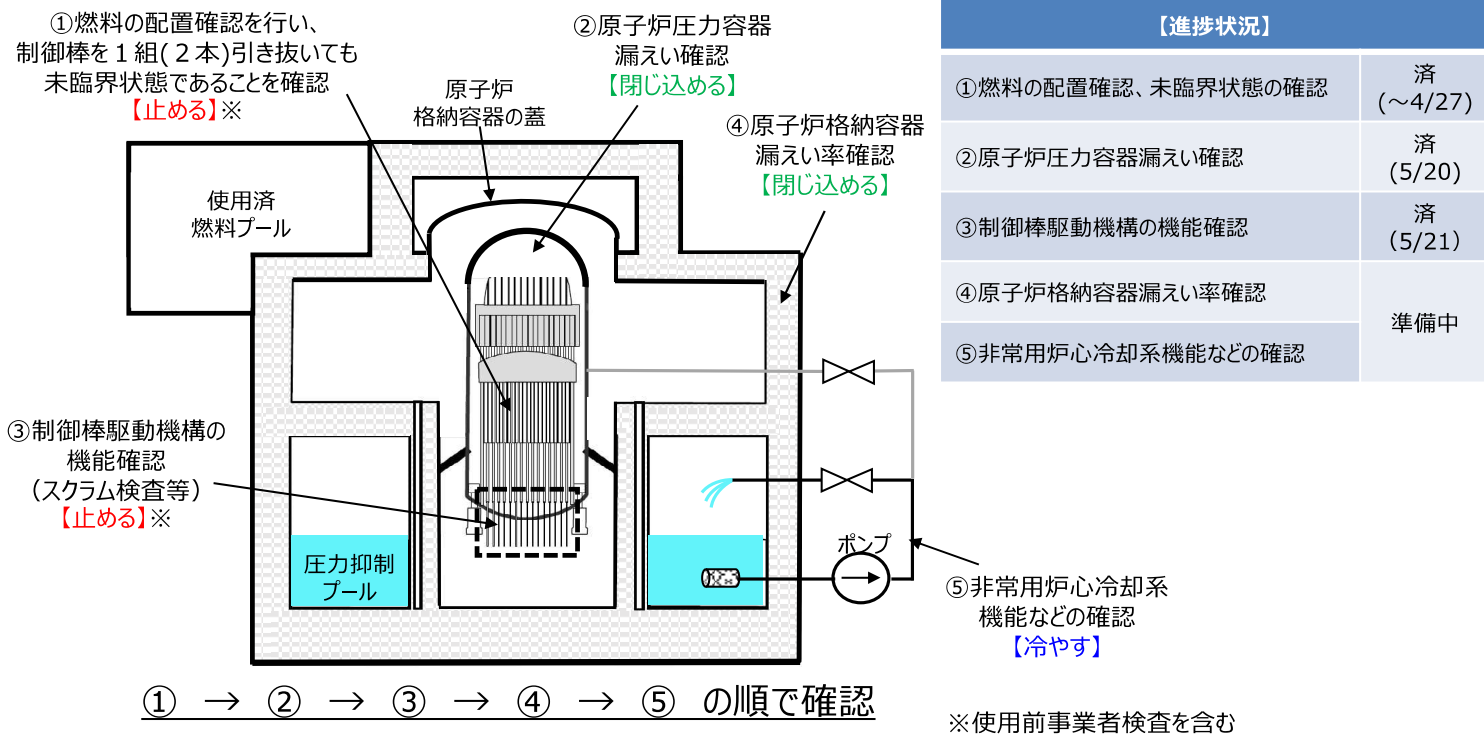
当社は、引き続き同委員会による審査に真摯かつ丁寧に対応するとともに、福島第一原子力発電所の事故から得られた教訓を踏まえ、更なる安全性、信頼性の向上に努めてまいります。

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 原子力報道グループ 03-6373-1111 (代表)

燃料装荷後の健全性確認の進捗について

- 5月21日までに②原子炉压力容器の漏えい確認や③制御棒駆動機構の機能確認を実施し、問題が無いことを確認。併せて原子炉格納容器の蓋を閉鎖
- 今後、準備が整い次第、④原子炉格納容器の漏えい率確認、⑤非常用炉心冷却系機能などの確認を実施予定



(1/2)

(お知らせ)

地震発生後のプラント状況について (6 時 41 分現在、第 1 報) ~~続報~~ ~~最終報~~

2024年 6月 3日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
TEL : 0257-45-3131

本日、6時31分頃に地震が発生しておりますが、現在のプラント状況は以下の通りです。

(参考) 発電所周辺地域の震度情報

観測所名	柏崎市 日石町	柏崎市 西山町池浦	柏崎市 高柳町岡野町	刈羽村 割町新田	出雲崎町 米田
震度	3	4	3	4	3

(1) プラントの状況

号機名	地震発生前後の 運転状況	号機名	燃料プール冷却系の状況		燃料プールの 溢水・漏えい
			地震発生前	地震発生後	
1	全号機 プラント 停止中	1	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り
2		2	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り
3		3	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り
4		4	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り
5		5	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り
6		6	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り
7		7	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り

(2) 外部への放射能の影響 無し

放射線を監視している排気筒モニタや発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値は通常の変動範囲であり、現時点において外部への放射能の影響はありません。

(2/2)

(3) 発電所内で観測された地震の加速度の最大値

地震の加速度の最大値	
確認中	1号機 原子炉建屋基礎マット上端 14.4 Gal (水平・鉛直)

(4) 燃料プール冷却系停止に関する情報 (停止した場合のみ記載)

号機名	燃料プール水位 (オーバーフロー水位付近)	燃料プール冷却に係る電源 (外部電源・非常用 ディーゼル発電機)	燃料プール水温度に関する情報		
			燃料プール 水温度 ℃	温度 上昇率 ℃/h	運転上の制限値 到達予想時間 (65℃まで)
1	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
2	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
3	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
4	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
5	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
6	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
7	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間

(5) 各プラントの点検状況

号機名	プラントの点検状況		原子炉自動停止信号の発生	
1	継続中	正常 異常	確認中	無し・有り : []
2	継続中	正常 異常	確認中	無し・有り : []
3	継続中	正常 異常	確認中	無し・有り : []
4	継続中	正常 異常	確認中	無し・有り : []
5	継続中	正常 異常	確認中	無し・有り : []
6	継続中	正常 異常	確認中	無し・有り : []
7	継続中	正常 異常	確認中	無し・有り : []

(参考) 原子炉自動停止の「地震加速度大」設定値 (保安規定第27条)

原子炉建屋 最地下階床 水平120Gal以下、鉛直100Gal以下

原子炉建屋 中間階床 水平185Gal以下

(6) その他特記事項

・6時32分 1~7号機中央制御室の計器及び警報点検開始

(参考) 発電所周辺地域の津波情報

津波発生に関する気象庁からの発表 (新潟県沿岸における情報)	
確認中	無し・有り : [津波注意報 ・ 津波警報]

以上

1/2

(お知らせ)

地震発生後のプラント状況について (6 時 53 分現在、第 2 報) 続報 ~~最終報~~

2024年 6月 3日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
TEL : 0257-45-3131

本日、6 時 31 分頃に地震が発生しておりますが、現在のプラント状況は以下の通りです。

(参考) 発電所周辺地域の震度情報

観測所名	柏崎市 日石町	柏崎市 西山町池浦	柏崎市 高柳町岡野町	刈羽村 割町新田	出雲崎町 米田
震度	3	4	3	4	3

(1) プラントの状況

号機名	地震発生前後の 運転状況	号機名	燃料プール冷却系の状況		燃料プールの 溢水・漏えい	
			地震発生前	地震発生後		
1	全号機 プラント 停止中	1	運転 停止 確認中	運転 停止 再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
2		2	運転 停止 確認中	運転 停止 再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
3		3	運転 停止 確認中	運転 停止 再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
4		4	運転 停止 確認中	運転 停止 再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
5		5	運転 停止 確認中	運転 停止 再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
6		6	運転 停止 確認中	運転 停止 再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
7		7	運転 停止 確認中	運転 停止 再起動 (時 分)	確認中	無し 有り

(2) 外部への放射能の影響 無し

放射線を監視している排気筒モニタや発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値は通常の変動範囲であり、現時点において外部への放射能の影響はありません。

(3) 発電所内で観測された地震の加速度の最大値

地震の加速度の最大値	
確認中	1 号機 原子炉建屋基礎マット上端 14.4 Gal (水平・鉛直)

(4) 燃料プール冷却系停止に関する情報 (停止した場合のみ記載)

号機名	燃料プール水位 (オーバーフロー水位付近)	燃料プール冷却に係る電源 (外部電源・非常用 ディーゼル発電機)	燃料プール水温度に関する情報		
			燃料プール 水温度 ℃	温度 上昇率 ℃/h	運転上の制限値 到達予想時間 (65℃まで)
1	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
2	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
3	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
4	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
5	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
6	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
7	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間

(5) 各プラントの点検状況

号機名	プラントの点検状況		原子炉自動停止信号の発生	
1	継続中	正常 / 異常	確認中	無し / 有り : []
2	継続中	正常 / 異常	確認中	無し / 有り : []
3	継続中	正常 / 異常	確認中	無し / 有り : []
4	継続中	正常 / 異常	確認中	無し / 有り : []
5	継続中	正常 / 異常	確認中	無し / 有り : []
6	継続中	正常 / 異常	確認中	無し / 有り : []
7	継続中	正常 / 異常	確認中	無し / 有り : []

(参考) 原子炉自動停止の「地震加速度大」設定値 (保安規定第27条)

原子炉建屋 最地下階床 水平120Gal以下、鉛直100Gal以下

原子炉建屋 中間階床 水平185Gal以下

(6) その他特記事項

・けが人の情報なし。

・6時40分 1~7号機中央制御室の計器及び警報点検終了、異常なし確認

・6時51分 1~7号機プラントの現場点検開始

(参考) 発電所周辺地域の津波情報

津波発生に関する気象庁からの発表 (新潟県沿岸における情報)	
確認中	無し / 有り : [津波注意報 / 津波警報]

以上

(お知らせ)

地震発生後のプラント状況について (7 時 23 分現在、第 3 報) 続報 —最終報—

1/2

2024年 6月 3日

東京電力ホールディングス株式会社

柏崎刈羽原子力発電所

TEL : 0257-45-3131

本日、6 時 31 分頃に地震が発生しておりますが、現在のプラント状況は以下の通りです。

(参考) 発電所周辺地域の震度情報

観測所名	柏崎市 日石町	柏崎市 西山町池浦	柏崎市 高柳町岡野町	刈羽村 割町新田	出雲崎町 米田
震 度	3	4	3	4	3

(1) プラントの状況

号機名	地震発生前後 の運転状況	号機名	燃料プール冷却系の状況		燃料プールの 溢水・漏えい		
			地震発生前	地震発生後			
1	全号機 プラント 停止中	1	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
2		2	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
3		3	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
4		4	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
5		5	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
6		6	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
7		7	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り

(2) 外部への放射能の影響 無し

放射線を監視している排気筒モニタや発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値は通常の変動範囲であり、現時点において外部への放射能の影響はありません。

(3) 発電所内で観測された地震の加速度の最大値

地震の加速度の最大値	
確認中	1号機 原子炉建屋基礎マット上端 14.4 Gal (水平・鉛直)

(4) 燃料プール冷却系停止に関する情報 (停止した場合のみ記載)

号機名	燃料プール水位 (オーバーフロー水位付近)	燃料プール冷却に係る電源 (外部電源・非常用 ディーゼル発電機)	燃料プール水温度に関する情報		
			燃料プール 水温度 ℃	温度 上昇率 ℃/h	運転上の制限値 到達予想時間 (65℃まで)
1	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
2	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
3	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
4	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
5	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
6	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
7	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間

(5) 各プラントの点検状況

号機名	プラントの点検状況			原子炉自動停止信号の発生	
	継続中	正常	異常	確認中	無し・有り
1	継続中	正常	異常	確認中	無し・有り
2	継続中	正常	異常	確認中	無し・有り
3	継続中	正常	異常	確認中	無し・有り
4	継続中	正常	異常	確認中	無し・有り
5	継続中	正常	異常	確認中	無し・有り
6	継続中	正常	異常	確認中	無し・有り
7	継続中	正常	異常	確認中	無し・有り

(参考) 原子炉自動停止の「地震加速度大」設定値 (保安規定第27条)

原子炉建屋 最地下階床 水平120Gal以下、鉛直100Gal以下
 原子炉建屋 中間階床 水平185Gal以下

(6) その他特記事項

- ・ けが人の情報なし。
- ・ 6時51分 1～7号機プラントの現場点検開始
- ・ 7時20分 1～7号機原子炉建屋最上階で地震の揺れによる燃料プール水の溢水なしを確認

(参考) 発電所周辺地域の津波情報

津波発生に関する気象庁からの発表 (新潟県沿岸における情報)	
確認中	無し・有り [津波注意報・津波警報]

以上

(お知らせ)

地震発生後のプラント状況について (8 時 0 分現在、第 4 報) 続報 —最終報— 1/2

2024年 6月 3日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
TEL : 0257-45-3131

本日、6時31分頃に地震が発生しておりますが、現在のプラント状況は以下の通りです。

(参考) 発電所周辺地域の震度情報

観測所名	柏崎市 日石町	柏崎市 西山町池浦	柏崎市 高柳町岡野町	刈羽村 割町新田	出雲崎町 米田
震度	3	4	3	4	3

(1) プラントの状況

号機名	地震発生前後の 運転状況	燃料プール冷却系の状況				燃料プールの 溢水・漏えい	
		号機名	地震発生前	地震発生後			
1	全号機 プラント 停止中	1	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)		確認中	無し 有り
2		2	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)		確認中	無し 有り
3		3	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)		確認中	無し 有り
4		4	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)		確認中	無し 有り
5		5	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)		確認中	無し 有り
6		6	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)		確認中	無し 有り
7		7	運転停止 確認中	運転停止・再起動 (時 分)		確認中	無し 有り

(2) 外部への放射能の影響 無し

放射線を監視している排気筒モニタや発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値は通常の変動範囲であり、現時点において外部への放射能の影響はありません。

(3) 発電所内で観測された地震の加速度の最大値

地震の加速度の最大値	
確認中	1号機 原子炉建屋基礎マット上端 14.4 Gal (水平・鉛直)

(4) 燃料プール冷却系停止に関する情報 (停止した場合のみ記載)

号機名	燃料プール水位 (オーバーフロー水位付近)	燃料プール冷却に係る電源 (外部電源・非常用 ディーゼル発電機)	燃料プール水温度に関する情報		
			燃料プール 水温度 ℃	温度 上昇率 ℃/h	運転上の制限値 到達予想時間 (65℃まで)
1	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
2	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
3	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
4	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
5	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
6	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間
7	確認中・正常・異常	正常・異常			約 時間

(5) 各プラントの点検状況

号機名	プラントの点検状況			原子炉自動停止信号の発生	
	継続中	正常	異常	確認中	無し
1	継続中	正常	異常	確認中	無し
2	継続中	正常	異常	確認中	無し
3	継続中	正常	異常	確認中	無し
4	継続中	正常	異常	確認中	無し
5	継続中	正常	異常	確認中	無し
6	継続中	正常	異常	確認中	無し
7	継続中	正常	異常	確認中	無し

(参考) 原子炉自動停止の「地震加速度大」設定値(保安規定第27条)

原子炉建屋 最地下階床 水平120Gal以下、鉛直100Gal以下
 原子炉建屋 中間階床 水平185Gal以下

(6) その他特記事項

- ・けが人の情報なし。
- ・6時51分 1～7号機プラントの現場点検開始
- ・8時00分現在の現場点検進捗率 約 30/100%

(参考) 発電所周辺地域の津波情報

津波発生に関する気象庁からの発表 (新潟県沿岸における情報)	
確認中	無し・有り [津波注意報 津波警報]

以上

(お知らせ)
地震発生後のプラント状況について (9 時 0 分現在、第 5 報) 続報 ~~最終報~~

2024年 6月 3日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
TEL : 0257-45-3131

本日、 6 時 31 分頃に地震が発生しておりますが、現在のプラント状況は以下の通りです。

(参考) 発電所周辺地域の震度情報

観測所名	柏崎市 日石町	柏崎市 西山町池浦	柏崎市 高柳町岡野町	刈羽村 割町新田	出雲崎町 米田
震 度	3	4	3	4	3

(1) プラントの状況

号機名	地震発生前後の 運転状況	号機名	燃料プール冷却系の状況		燃料プールの 溢水・漏えい
			地震発生前	地震発生後	
1	全号機 プラント 停止中	1	運転 停止 確認中	運転 停止 ・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り
2		2	運転 停止 確認中	運転 停止 ・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り
3		3	運転 停止 確認中	運転 停止 ・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り
4		4	運転 停止 確認中	運転 停止 ・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り
5		5	運転 停止 確認中	運転 停止 ・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り
6		6	運転 停止 確認中	運転 停止 ・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り
7		7	運転 停止 確認中	運転 停止 ・再起動 (時 分)	確認中 無し 有り

(2) 外部への放射能の影響 無し

放射線を監視している排気筒モニタや発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値は通常の変動範囲であり、現時点において外部への放射能の影響はありません。

(3) 発電所内で観測された地震の加速度の最大値

地震の加速度の最大値	
確認中	1号機 原子炉建屋基礎マット上端 14.4 Gal (水平・鉛直)

(4) 燃料プール冷却系停止に関する情報 (停止した場合のみ記載)

号機名	燃料プール水位 (オーバーフロー水位付近)	燃料プール冷却に係る電源 (外部電源・非常用 ディーゼル発電機)	燃料プール水温度に関する情報		
			燃料プール 水温度 ℃	温度 上昇率 ℃/h	運転上の制限値 到達予想時間 (65℃まで)
1	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
2	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
3	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
4	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
5	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
6	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
7	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間

(5) 各プラントの点検状況

号機名	プラントの点検状況		原子炉自動停止信号の発生	
1	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
2	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
3	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
4	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
5	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
6	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
7	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []

(参考) 原子炉自動停止の「地震加速度大」設定値 (保安規定第27条)

原子炉建屋 最地下階床 水平120Gal以下、鉛直100Gal以下

原子炉建屋 中間階床 水平185Gal以下

(6) その他特記事項

・けが人情報なし。

・6時51分 1～7号機プラントの現場点検開始

・9時00分現在の現場点検進捗率 約 75/100%

(参考) 発電所周辺地域の津波情報

津波発生に関する気象庁からの発表 (新潟県沿岸における情報)	
確認中	無し・有り : [津波注意報 津波警報]

以上

(お知らせ)
地震発生後のプラント状況について (10 時 0 分現在、第 6 報) 続報 ~~最終報~~

2024年 6月 3日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所
TEL : 0257-45-3131

本日、 6 時 31 分頃に地震が発生しておりますが、現在のプラント状況は以下の通りです。

(参考) 発電所周辺地域の震度情報

観測所名	柏崎市 日石町	柏崎市 西山町池浦	柏崎市 高柳町岡野町	刈羽村 割町新田	出雲崎町 米田
震 度	3	4	3	4	3

(1) プラントの状況

号機名	地震発生前後 の運転状況	号機名	燃料プール冷却系の状況				燃料プールの 溢水・漏えい	
			地震発生前	地震発生後				
1	全号機 プラント 停止中	1	運転 停止	確認中	運転 停止	再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
2		2	運転 停止	確認中	運転 停止	再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
3		3	運転 停止	確認中	運転 停止	再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
4		4	運転 停止	確認中	運転 停止	再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
5		5	運転 停止	確認中	運転 停止	再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
6		6	運転 停止	確認中	運転 停止	再起動 (時 分)	確認中	無し 有り
7		7	運転 停止	確認中	運転 停止	再起動 (時 分)	確認中	無し 有り

(2) 外部への放射能の影響 無し

放射線を監視している排気筒モニタや発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値は通常の変動範囲であり、現時点において外部への放射能の影響はありません。

(3) 発電所内で観測された地震の加速度の最大値

地震の加速度の最大値	
確認中	1 号機 原子炉建屋基礎マット上端 14.4 Gal (水平・鉛直)

(4) 燃料プール冷却系停止に関する情報 (停止した場合のみ記載)

号機名	燃料プール水位 (オーバーフロー水位付近)	燃料プール冷却に係る電源 (外部電源・非常用 ディーゼル発電機)	燃料プール水温度に関する情報		
			燃料プール 水温度 ℃	温度 上昇率 ℃/h	運転上の制限値 到達予想時間 (65℃まで)
1	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
2	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
3	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
4	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
5	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
6	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
7	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間

(5) 各プラントの点検状況

号機名	プラントの点検状況		原子炉自動停止信号の発生	
1	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
2	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
3	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
4	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
5	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
6	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
7	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []

(参考) 原子炉自動停止の「地震加速度大」設定値 (保安規定第27条)

原子炉建屋 最地下階床 水平120Gal以下、鉛直100Gal以下
 原子炉建屋 中間階床 水平185Gal以下

(6) その他特記事項

- ・けが人情報なし。
- ・6時51分 1～7号機プラントの現場点検開始
- ・10時00分現在の現場点検進捗率 約 95/100%

(参考) 発電所周辺地域の津波情報

津波発生に関する気象庁からの発表 (新潟県沿岸における情報)	
確認中	無し・有り : [津波注意報 津波警報]

以上

(お知らせ)

地震発生後のプラント状況について (11 時 30 分現在、第 7 報) ~~続報~~ 最終報

2024年 6月 3日

東京電力ホールディングス株式会社

柏崎刈羽原子力発電所

TEL : 0257-45-3131

本日、 6 時 31 分頃に地震が発生しておりますが、現在のプラント状況は以下の通りです。

(参考) 発電所周辺地域の震度情報

観測所名	柏崎市 日石町	柏崎市 西山町池浦	柏崎市 高柳町岡野町	刈羽村 割町新田	出雲崎町 米田
震 度	3	4	3	4	3

(1) プラントの状況

号機名	地震発生前後の 運転状況	号機名	燃料プール冷却系の状況				燃料プールの 溢水・漏えい	
			地震発生前	地震発生後				
1	全号機 プラント 停止中	1	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り	
2		2	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り	
3		3	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り	
4		4	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り	
5		5	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り	
6		6	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り	
7		7	運転 停止	確認中	運転 停止・再起動 (時 分)	確認中	無し 有り	

(2) 外部への放射能の影響 無し

放射線を監視している排気筒モニタや発電所の敷地境界に設置しているモニタリングポストにおける指示値は通常の変動範囲であり、現時点において外部への放射能の影響はありません。

(3) 発電所内で観測された地震の加速度の最大値

地震の加速度の最大値	
確認中	1号機 原子炉建屋基礎マット上端 14.4 Gal (水平・鉛直)

(4) 燃料プール冷却系停止に関する情報 (停止した場合のみ記載)

号機名	燃料プール水位 (オーバーフロー水位付近)	燃料プール冷却に係る電源 (外部電源・非常用 ディーゼル発電機)	燃料プール水温度に関する情報		
			燃料プール 水温度 ℃	温度 上昇率 ℃/h	運転上の制限値 到達予想時間 (65℃まで)
1	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
2	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
3	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
4	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
5	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
6	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間
7	確認中・正常・異常	正常・異常	—	—	約 時間

(5) 各プラントの点検状況

号機名	プラントの点検状況		原子炉自動停止信号の発生	
1	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
2	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
3	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
4	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
5	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
6	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []
7	継続中	正常・異常	確認中	無し・有り : []

(参考) 原子炉自動停止の「地震加速度大」設定値 (保安規定第27条)

原子炉建屋 最地下階床 水平120Gal以下、鉛直100Gal以下
 原子炉建屋 中間階床 水平185Gal以下

(6) その他特記事項

・けが人情報なし。

・6時51分、1～7号機プラントの現場点検開始。10時52分に完了し、原子力関連設備に異常無しを確認しました。

(参考) 発電所周辺地域の津波情報

津波発生に関する気象庁からの発表 (新潟県沿岸における情報)	
確認中	無し・有り : [津波注意報 津波警報]

以上

2024年5月16日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

以下の通り人事異動がありましたので、お知らせいたします。

日付	新役職	現役職	氏名
2024. 7. 1	<副所長級> 柏崎刈羽原子力発電所副所長 (地域渉外担当) 兼 原子力・立地本部	柏崎刈羽原子力発電所	すぎやま ともたか 杉山 智貴

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131 (代表)

組織改編について

2024年5月29日

東京電力ホールディングス株式会社

当社は、本年7月1日に以下の組織改編を実施いたします。

○「原子力資材調達センター」「廃炉資材調達センター」「その他資材調達組織」の統合

当社は、現状の調達組織を見直し、ホールディングス内の調達機能を「調達部」へ統合いたします。

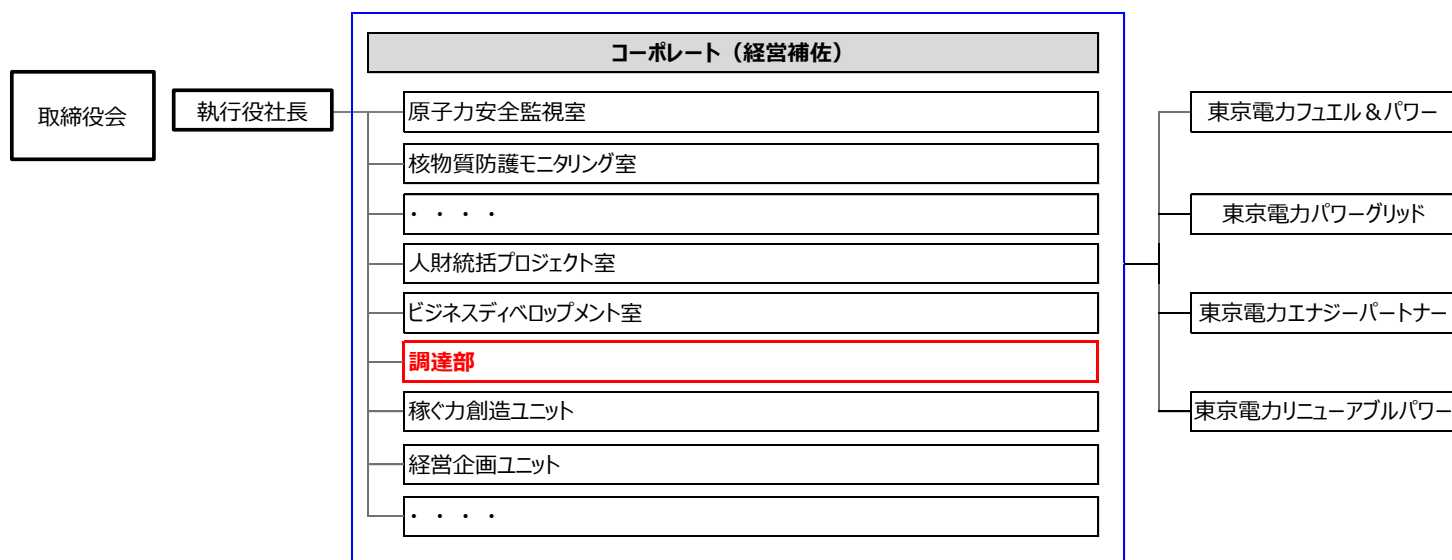
具体的には、原子力・立地本部内の原子力資材調達センター、福島第一廃炉推進カンパニー内の廃炉資材調達センター、経営企画ユニット内のグループ事業管理室及びビジネスソリューション・カンパニー内の総務サービスセンターにおける調達組織を「調達部」へ統合いたします。

これまでは、調達業務を組織ごとに実施してまいりましたが、原子力及び廃炉設備における調達上の課題への対応を始めとし、各所の取り組みを水平展開するなど一元的に対応していくことが調達機能の最適化を図れるものと判断し、実施するものです。

今後も、取引先の皆さまとの相互信頼関係のもと、公平性・透明性の高い取引環境を整備し、経済的で質の良い資機材・サービスを調達してまいります。

以 上

組織改編の概要について



【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
広報室 報道グループ 03-6373-1111 (代表)

2024年5月30日
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

以下の通り人事異動がありましたので、お知らせいたします。

日付	新役職	現役職	氏名
2024.7.1	<課長級> 原子力運営管理部 核セキュリティ管理グループマネージャー 兼 原子燃料サイクル部輸送技術グループ	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループマネージャー 兼 核セキュリティ施設運用グループ	なかざわ ただし 中沢 直
2024.7.1	原子力運営管理部 運転計画グループマネージャー (新潟県柏崎市UKビル駐在) 兼 原子力・立地本部 (運転CFAM担当)	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 発電グループマネージャー 兼 作業管理グループマネージャー	じょうこう けいご 上甲 圭悟
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 カイゼン室	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー	たてわき くみこ 立脇 久美子
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 企画広報グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 地域共生総括グループマネージャー	とりがい やすき 鳥飼 泰樹
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 地域共生総括グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 刈羽地域グループマネージャー	さかい としゆき 坂井 敏幸
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループマネージャー 兼 核セキュリティ施設運用グループ	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ 設備改良プロジェクトチームリーダー 兼 サイバーセキュリティグループ 兼 第二保全部	きむら けんじ 木村 賢司
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 放射線安全部 放射線安全グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 放射線安全部 放射線安全グループマネージャー 兼 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ	いいづか まさと 飯塚 正人
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 放射線安全部 放射線管理グループマネージャー 兼 セキュリティ管理部 核セキュリティ運営管理グループ 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 柏崎刈羽原子力発電所 リスクコミュニケーター	柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 放射線安全部 放射線管理グループマネージャー 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 柏崎刈羽原子力発電所 リスクコミュニケーター	うえだ しゆんのすけ 上田 俊之介

日付	新役職	現役職	氏名
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 放射線安全部 環境グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 原子力安全センター 放射線安全部 環境グループマネージャー 兼 柏崎刈羽原子力発電所（環境担当）	かたぎり みわいち 片桐 峰一
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 兼 第二運転管理部	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 燃料グループ燃焼管理チームリーダー 兼 第二運転管理部 燃料グループ燃焼管理チームリーダー	こじま いちろう 小島 一郎
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 発電（1～4号）グループマネージャー 兼 作業管理グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 当直長	まじま かつのり 間嶋 克憲
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部 発電グループマネージャー 兼 作業管理グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部 発電（1～4号）グループマネージャー 兼 作業管理グループマネージャー	みずかみ ゆうすけ 水上 祐介
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 KK6安全対策共同事業株式会社出向	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 KK6安全対策共同事業株式会社出向 兼 第二保全部（保全担当） 兼 第一保全部（保全担当）	ほりい とみお 堀井 富男
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部（保全担当） 兼 第一保全部（保全担当） 兼 渉外・広報ユニット広報室 兼 柏崎刈羽原子力発電所 リスクコミュニケーター	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 保全総括グループマネージャー	こばやし あきら 小林 聡
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 保全総括グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 原子炉グループ業務管理チームリーダー 兼 第一保全部原子炉（1・4号）グループ 兼 第一保全部原子炉（2・3号）グループ	ちゅうらい ようすけ 中禮 洋介
2024.7.1	東京電力パワーグリッド株式会社 サイバーセキュリティセンター セキュリティ運用グループマネージャー	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 サイバーセキュリティグループマネージャー	こすげ たかし 小菅 高志
2024.7.1	東京電力パワーグリッド株式会社 電子通信部 東京通信ネットワークセンター副所長 兼 運用総括グループマネージャー 兼 東京通信ネットワークセンター （安全品質担当） 兼 東京通信ネットワークセンター （環境担当）	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 電子通信グループマネージャー 兼 原子力安全センター 安全総括部	ひらまつ しんじ 平松 真二
2024.7.1	東京電力エナジーパートナー株式会社 東京本部（サービス品質担当） 兼 営業総括グループ 兼 人財戦略・育成推進室 労務人事グループ	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 サービスホールグループマネージャー	ふかがわ とおる 深川 徹

日付	新役職	現役職	氏名
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 刈羽地域グループマネージャー	新潟本部 渉外・広報部 広報グループ広報チームリーダー	みやじま まさあき 宮嶋 政明
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 広報部 サービスホールグループマネージャー	内部監査室 内部監査グループ	かもしだ げん 鴨志田 玄
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 セキュリティ管理部 サイバーセキュリティグループマネージャー	福島第一廃炉推進カンパニー 福島第一原子力発電所 セキュリティ管理部 サイバーセキュリティグループマネージャー 兼 業務統括室 ICT推進グループマネージャー	いわもと てるき 岩本 輝揮
2024.7.1	柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部 電子通信グループマネージャー 兼 原子力安全センター 安全総括部	東京電力パワーグリッド株式会社 電子通信部 埼玉通信ネットワークセンター 通信機器保守グループマネージャー	なかむら まさひろ 中村 昌弘

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
柏崎刈羽原子力発電所 広報部 報道グループ 0257-45-3131（代表）

(お知らせ)

燕市・三条市・新発田市・聖籠町における
「東京電力コミュニケーションブース」の開設について

2024年5月31日

東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社

当社は、柏崎刈羽原子力発電所において核物質防護強化の取り組みや発電所の安全性を向上させる取り組みを進めております。

このたび、当社の取り組みについて、地域の皆さまと直接お会いし、ご意見を拝聴するとともに、一人ひとりにご説明させていただくため、以下の通り「東京電力コミュニケーションブース」を開設いたします。

地域の皆さまのご不安やご質問にお答えし、頂戴した貴重なご意見については、今後の発電所運営に活かしてまいります。

<燕市／三条市>

- ・期間：2024年6月15日（土）・6月16日（日）
- ・時間：10時00分～16時00分
- ・場所：イオン県央店／コムサ・イズム前特設会場（燕市井土巻3-65）

<新発田市／聖籠町>

- ・期間：2024年6月29日（土）・6月30日（日）
- ・時間：10時00分～16時00分
- ・場所：イオンモール新発田／2階フードコート前（新発田市住吉町5-11-5）

今後におきましても、新潟県内にてコミュニケーションブースの開設を予定しており、詳細が決定次第、お知らせいたします。

以上

【本件に関するお問い合わせ】
東京電力ホールディングス株式会社
新潟本社 渉外・広報部 報道グループ 025-283-7461（代表）

柏崎刈羽原子力発電所に関する コミュニケーション活動等の取り組み

いただいた声

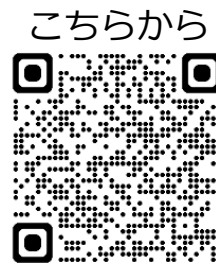
- ◆福島第一原子力発電所事故後の新たな対策により、大きな自然災害が起きても即避難とならず、約10日間は放射性物質の放出を遅らせることができるようになってきていることを、もっと分かりやすく地域に知らせるべき。

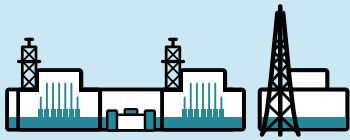
取り組み事項

- ◆原子力発電所になじみのない方でも、柏崎刈羽原子力発電所における安全対策の仕組みについて理解していただけるよう、アニメーションによる解説ムービーを作っています。
- ◆第一弾として「もし、大きな自然災害が起きたらどうなるの?」として放射性物質の放出を遅らせることができることを解説しています。
- ◆また、ムービーの内容を1ページにまとめたチラシも作成しました。
- ◆地域の皆さまや発電所をご視察される方へのご説明に使ってまいります。

柏崎刈羽原子力発電所 解説MOVIE

東京電力ホールディングスのYouTubeチャンネルで公開しています。



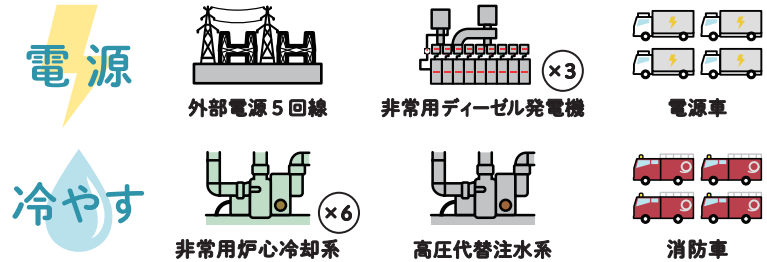


もし、大きな自然災害が 起きたらどうなるの？

まずは

災害が起きても事故を起こさないように、設備の強化を行い、電源や原子炉を冷やす機能を多重化・多様化しています。

対策



さらに

これらの対策に加えて、海水による冷却設備を備えています。万が一、炉心が損傷するような事故が起きたとしても、この冷却設備が機能していれば少なくとも約**10日間**は大気への放射性物質の放出を遅らせることができ、この間に事故対応を行います。

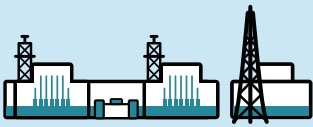
海水による冷却設備



それでも

放射性物質を放出せざるを得ない場合は、フィルタベント設備を通すことで大量の放射性物質の放出を防ぎます。

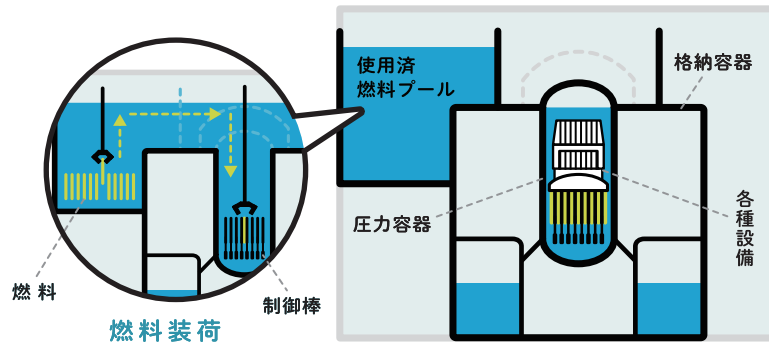




原子炉に燃料を入れたと聞いたけど、何をしているの？

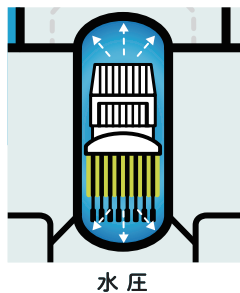
健全性確認の準備

止める・冷やす・閉じ込めるといった原子力発電所で最も重要な機能の健全性を確認するため、2024年4月15日～26日に7号機の原子炉へ燃料を入れました（燃料装荷）。その後、各種設備を設置し、原子炉を閉じました。

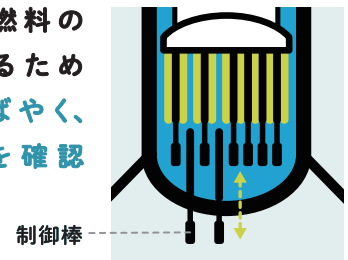


健全性確認

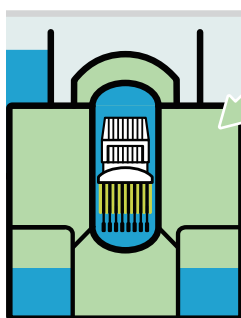
1 圧力容器と配管に水を張り、水圧を加えることで放射性物質を含む水が漏えいしないことを確認します。



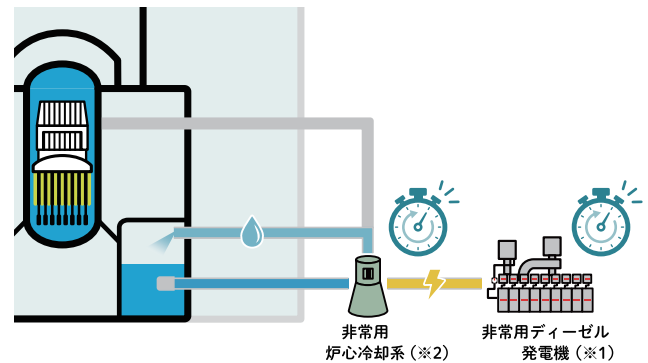
2 緊急時に核燃料の反応を止めるための「制御棒」がすばやく、確実に動くことを確認します。



3 万が一、圧力容器から蒸気が漏えいした場合でも、格納容器の外に出る放射性物質が基準値以下であることを確認するために、格納容器内を窒素ガスで満たし、漏えい率を確認します。



4 外部電源を失っても原子炉を冷やせるように、非常用電源*1が想定時間内に自動で起動し、炉心を冷やす設備・機能*2がきちんと動くことを確認します。



2024年5月9日7時00分現在

【燃料装荷後の健全性確認】

工 程	進 捗 状 況
○ 燃料配置確認（4/26 完了）	○ 装荷された燃料が正しい配置であることを確認
○ 未臨界状態の確認（4/27 完了）	○ 制御棒を1組完全に引き抜いても未臨界状態であることを確認

【特記事項】

- 5/8より、燃料装荷後の健全性確認実施に向け、原子炉圧力容器の蓋を閉じる作業等を実施中。

2024 年 5 月 17 日 7 時 00 分現在

【燃料装荷後の健全性確認】

工 程	進 捗 状 況
○ 燃料配置確認 (4/26 完了)	○ 装荷された燃料が正しい配置であることを確認
○ 未臨界状態の確認 (4/27 完了)	○ 制御棒を 1 組完全に引き抜いても未臨界状態であることを確認

【特記事項】

- 5/8 より、燃料装荷後の健全性確認実施に向け、原子炉圧力容器の蓋を閉じる作業等を実施し、5/16 に完了しました。
- 準備が整い次第、原子炉圧力容器や配管に水を張り、加圧した後、原子炉圧力容器や配管等から水の漏えいがないことを確認してまいります。

2024年5月20日9時00分現在

【燃料装荷後の健全性確認】

工 程	進 捗 状 況
○ 燃料配置確認（4/26 完了）	○ 装荷された燃料が正しい配置であることを確認
○ 未臨界状態の確認（4/27 完了）	○ 制御棒を1組完全に引き抜いても未臨界状態であることを確認
○ 原子炉圧力容器の漏えい確認（5/20 開始）	○ 原子炉圧力容器や配管に水を張り、加圧した後、原子炉圧力容器や配管等から水の漏えいがないことを確認中

【特記事項】

○ なし。

2024年5月21日7時00分現在

【燃料装荷後の健全性確認】

工 程	進 捗 状 況
○ 燃料配置確認（4/26 完了）	○ 装荷された燃料が正しい配置であることを確認
○ 未臨界状態の確認（4/27 完了）	○ 制御棒を1組完全に引き抜いても未臨界状態であることを確認
○ 原子炉圧力容器の漏えい確認（5/20 完了）	○ 原子炉圧力容器や配管に水を張り、加圧した後、原子炉圧力容器や配管等から水の漏えいがないことを確認

【特記事項】

- 準備が整い次第、制御棒1組（2本）を全て引き抜いた後、水圧で急速に挿入し、原子炉の緊急停止（スクラム）機能を確認してまいります。
- この健全性確認は205本ある全ての制御棒で実施します。

2024年5月22日7時00分現在

【燃料装荷後の健全性確認】

工 程	進 捗 状 況
○ 燃料配置確認 (4/26 完了)	○ 装荷された燃料が正しい配置であることを確認
○ 未臨界状態の確認 (4/27 完了)	○ 制御棒を1組完全に引き抜いても未臨界状態であることを確認
○ 原子炉圧力容器の漏えい確認 (5/20 完了)	○ 原子炉圧力容器や配管に水を張り、加圧した後、原子炉圧力容器や配管等から水の漏えいがないことを確認
○ 制御棒駆動機構の機能確認 (5/21 完了)	○ 制御棒1組(2本)を全て引き抜いた後、水圧で急速に挿入し、原子炉の緊急停止(スクラム)機能を205本※ある全ての制御棒で確認 ※ 1本のみ単独で制御棒の機能確認を実施

【特記事項】

- 準備が整い次第、格納容器に窒素ガスを充填し、加圧後に格納容器から漏れ出る1日あたりの窒素ガスの漏えい率を測定し、漏えい率が基準値以下であることを確認してまいります。

2024年5月24日10時30分現在

【燃料装荷後の健全性確認】

工 程	進 捗 状 況
○ 燃料配置確認 (4/26 完了)	○ 装荷された燃料が正しい配置であることを確認
○ 未臨界状態の確認 (4/27 完了)	○ 制御棒を1組完全に引き抜いても未臨界状態であることを確認
○ 原子炉圧力容器の漏えい確認 (5/20 完了)	○ 原子炉圧力容器や配管に水を張り、加圧した後、原子炉圧力容器や配管等から水の漏えいがないことを確認
○ 制御棒駆動機構の機能確認 (5/21 完了)	○ 制御棒1組(2本)を全て引き抜いた後、水圧で急速に挿入し、原子炉の緊急停止(スクラム)機能を205本※ある全ての制御棒で確認 ※ 1本のみ単独で制御棒の機能確認を実施
○ 原子炉格納容器の漏えい率確認 (5/24 開始)	○ 格納容器に窒素ガスを充填し、加圧後に格納容器から漏れ出る1日あたりの窒素ガスの漏えい率を測定し、漏えい率が基準値以下であることを確認中

【特記事項】

○ なし。

【燃料装荷後の健全性確認】

工 程	進 捗 状 況
○ 燃料配置確認 (4/26 完了)	○ 装荷された燃料が正しい配置であることを確認
○ 未臨界状態の確認 (4/27 完了)	○ 制御棒を1組完全に引き抜いても未臨界状態であることを確認
○ 原子炉圧力容器の漏えい確認 (5/20 完了)	○ 原子炉圧力容器や配管に水を張り、加圧した後、原子炉圧力容器や配管等から水の漏えいがないことを確認
○ 制御棒駆動機構の機能確認 (5/21 完了)	○ 制御棒1組(2本)を全て引き抜いた後、水圧で急速に挿入し、原子炉の緊急停止(スクラム)機能を205本※ある全ての制御棒で確認 ※ 1本のみ単独で制御棒の機能確認を実施
○ 原子炉格納容器の漏えい率確認 (5/29 完了)	○ 格納容器に窒素ガスを充填し、加圧後に格納容器から漏れ出る1日あたりの窒素ガスの漏えい率を測定し、漏えい率が基準値以下であることを確認

【特記事項】

- 準備が整い次第、非常用ディーゼル発電機、非常用炉心冷却系が所定の時間内に自動起動し、自動起動したポンプが所定の能力を発揮できることを確認してまいります。

【燃料装荷後の健全性確認】

工 程	進 捗 状 況
○ 燃料配置確認 (4/26 完了)	○ 装荷された燃料が正しい配置であることを確認
○ 未臨界状態の確認 (4/27 完了)	○ 制御棒を1組完全に引き抜いても未臨界状態であることを確認
○ 原子炉圧力容器の漏えい確認 (5/20 完了)	○ 原子炉圧力容器や配管に水を張り、加圧した後、原子炉圧力容器や配管等から水の漏えいがないことを確認
○ 制御棒駆動機構の機能確認 (5/21 完了)	○ 制御棒1組(2本)を全て引き抜いた後、水圧で急速に挿入し、原子炉の緊急停止(スクラム)機能を205本※ある全ての制御棒で確認 ※ 1本のみ単独で制御棒の機能確認を実施
○ 原子炉格納容器の漏えい率確認 (5/29 完了)	○ 格納容器に窒素ガスを充填し、加圧後に格納容器から漏れ出る1日あたりの窒素ガスの漏えい率を測定し、漏えい率が基準値以下であることを確認
○ 非常用炉心冷却系機能などの確認 (5/31 開始)	○ 非常用ディーゼル発電機、非常用炉心冷却系が、所定の時間内に自動起動し、自動起動したポンプが所定の能力を発揮できることを確認中

【特記事項】

○ なし。

【燃料装荷後の健全性確認】

工 程	進 捗 状 況
○ 燃料配置確認 (4/26 完了)	○ 装荷された燃料が正しい配置であることを確認
○ 未臨界状態の確認 (4/27 完了)	○ 制御棒を1組完全に引き抜いても未臨界状態であることを確認
○ 原子炉圧力容器の漏えい確認 (5/20 完了)	○ 原子炉圧力容器や配管に水を張り、加圧した後、原子炉圧力容器や配管等から水の漏えいがないことを確認
○ 制御棒駆動機構の機能確認 (5/21 完了)	○ 制御棒1組(2本)を全て引き抜いた後、水圧で急速に挿入し、原子炉の緊急停止(スクラム)機能を205本※ある全ての制御棒で確認 ※ 1本のみ単独で制御棒の機能確認を実施
○ 原子炉格納容器の漏えい率確認 (5/29 完了)	○ 格納容器に窒素ガスを充填し、加圧後に格納容器から漏れ出る1日あたりの窒素ガスの漏えい率を測定し、漏えい率が基準値以下であることを確認
○ 非常用炉心冷却系機能などの確認 (6/1 完了)	○ 非常用ディーゼル発電機、非常用炉心冷却系が、所定の時間内に自動起動し、自動起動したポンプが所定の能力を発揮できることを確認

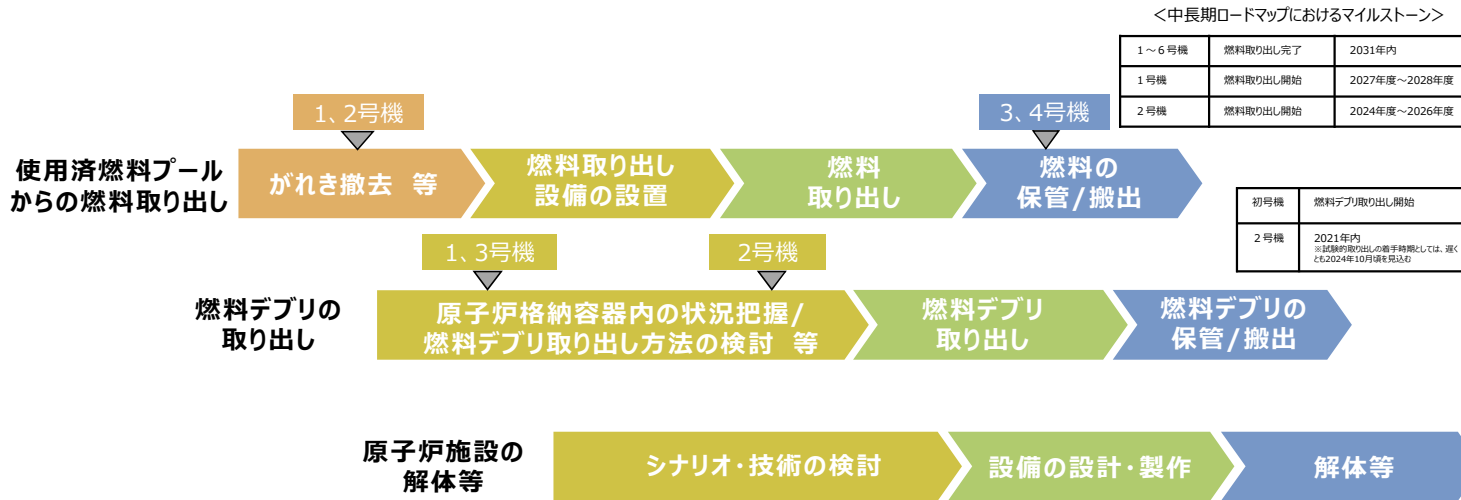
【特記事項】

- 主要な健全性確認が完了したことから、本日(6/3)より、7号機全体として弁の開閉確認など原子炉に係る設備が問題なく機能出来る状態であるかの確認(系統構成)を行ってまいります。

「廃炉」の主な作業項目と作業ステップ

使用済燃料プールからの燃料取り出しは、2014年12月22日に4号機が完了し、2021年2月28日に3号機が完了しました。引き続き、1、2号機の燃料取り出し、1～3号機燃料デブリ(注1)取り出しの開始に向け順次作業を進めています。

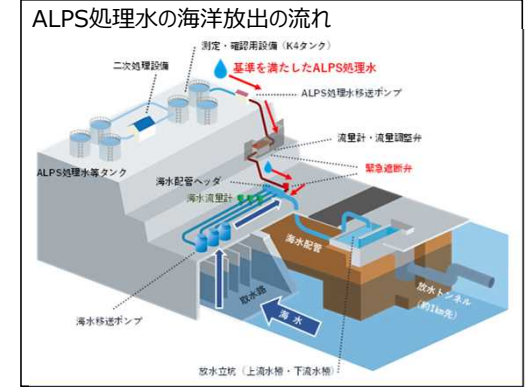
(注1)事故により溶け落ちた燃料



処理水対策

多核種除去設備等処理水の処分について

ALPS処理水の海洋放出に当たっては、安全に関する基準等を遵守し、人及び周辺環境、農林水産品の安全を確保してまいります。また、風評影響を最大限抑制するべく、モニタリングのさらなる強化や第三者による客観性・透明性の確保、IAEAによる安全性確認などに取り組むとともに、正確な情報を透明性高く、継続的に発信してまいります。



汚染水対策 ～3つの取組～

(1) 3つの基本方針に従った汚染水対策の推進に関する取組

①汚染源を「取り除く」 ②汚染源に水を「近づけない」 ③汚染水を「漏らさない」

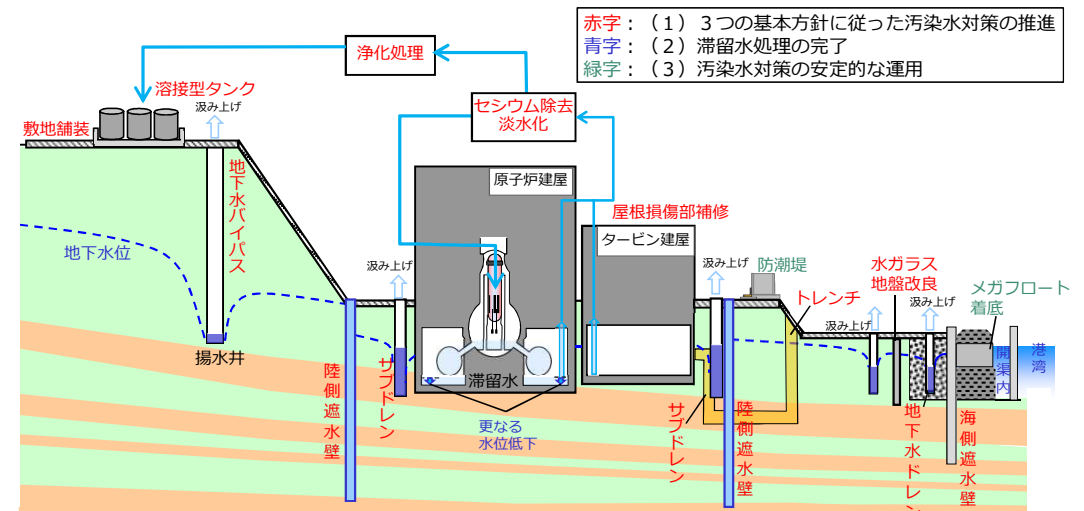
- 多核種除去設備以外で処理したストロンチウム処理水は、多核種除去設備での処理を行い、溶接型タンクで保管しています。
- 陸側遮水壁、サブドレン等の重層的な汚染水対策により、建屋周辺の地下水位を低位で安定的に管理しています。また、建屋屋根の損傷部の補修や構内のフェーシング等により、汚染水発生量は抑制傾向で、対策前の約540m³/日（2014年5月）から約80m³/日（2023年度）まで低減し、「平均的な降雨に対して、2025年以内に100m³/日以下に抑制」を達成しました。
- 汚染水発生量の更なる低減に向けて対策を進め、2028年度までに約50～70m³/日に抑制することを目指します。

(2) 滞留水処理の完了に向けた取組

- 建屋滞留水水位を計画的に低下させるため、滞留水移送装置を追設する工事を進めております。
- 2020年に1～3号機原子炉建屋、プロセス主建屋、高温焼却炉建屋を除く建屋内滞留水処理が完了しました。
- ダストの影響確認を行いながら、滞留水の水位低下を図り、2023年3月に各建屋における目標水位に到達し、1～3号機原子炉建屋について、「2022～2024年度に、原子炉建屋滞留水を2020年末の半分程度に低減」を達成しました。
- プロセス主建屋、高温焼却炉建屋の地下階に、震災直後の汚染水対策の一環として設置したゼオライト土嚢等について、線量低減策及び安定化に向けた検討を進めています。

(3) 汚染水対策の安定的な運用に向けた取組

- 津波対策として、建屋開口部の閉止対策を実施し、防潮堤設置工事が完了しました。また、豪雨対策として、土嚢設置による直接的な建屋への流入を抑制するとともに、排水路強化等を計画的に実施していきます。



取組の状況

- ◆ 1～3号機の原子炉・格納容器の温度は、この1か月安定的に推移しています。また、原子炉建屋からの放射性物質の放出量等については有意な変動がなく、総合的に冷温停止状態を維持していると判断しています。

ALPS処理水海洋放出について

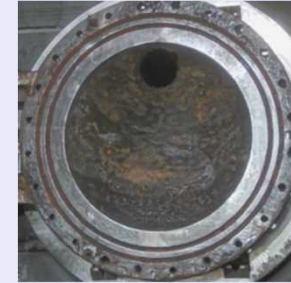
ALPS処理水の2024年度第2回放出に向け、測定・確認用設備のタンクA群を分析した結果、東京電力及び外部機関において放出基準を満足していることを確認しました。その上で、5月17日から測定・確認用設備のタンクA群のALPS処理水の海洋放出を開始しました。引き続き、海水中のトリチウムについて東京電力が毎日実施する迅速な分析の結果等から、計画どおりに放出が基準を満たして安全に行われていることを確認していきます。

<ALPS処理水の2024年度第2回放出に伴う測定状況>
※詳細は5ページ右側に記載

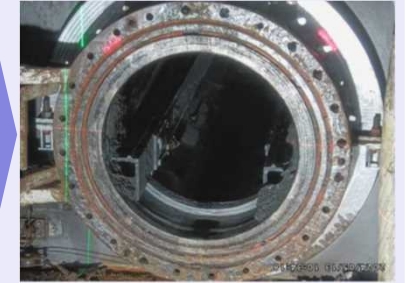
測定状況	基準等達成度
【東京電力】タンクA群の処理水の性状（測定・評価対象の29核種の濃度）（3/25採取）	○
【東京電力】放水立坑及び海水配管ヘッダ下流（5/28採取）	○
【東京電力】発電所から3km以内8地点にて実施する海域モニタリング結果（5/28採取）	○
【水産庁】水産物トリチウム濃度（ヒラメ等、5/24採取）	○
【福島県】福島県沖海水トリチウム濃度（9測点、5/20採取）	○

2号機 燃料デブリ試験的取り出し作業の準備状況について

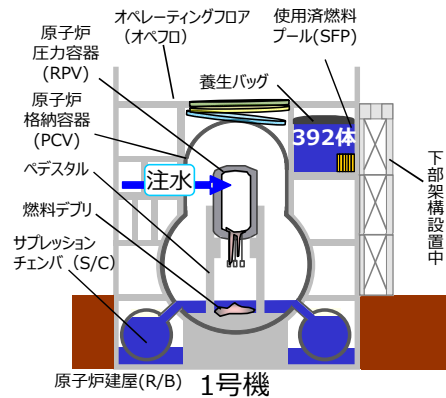
今年1月10日より実施してきた貫通孔（X-6ペネ）の堆積物除去作業は、5月13日に完了し、テレスコピ装置及びロボットアームが、X-6ペネ内の通過に影響がないことを確認しました。引き続き、X-6ペネに接続構造及び接続管の設置作業を実施中です。試験的取り出しの着手時期としては、現時点で2024年8月から10月頃を見込んでいます。



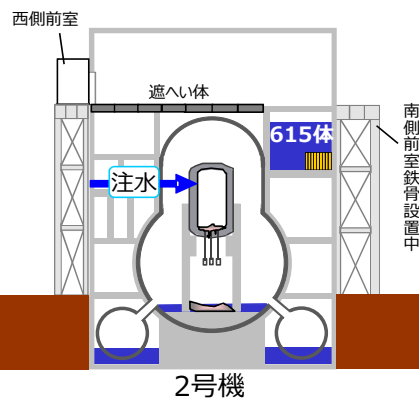
<堆積物除去前>



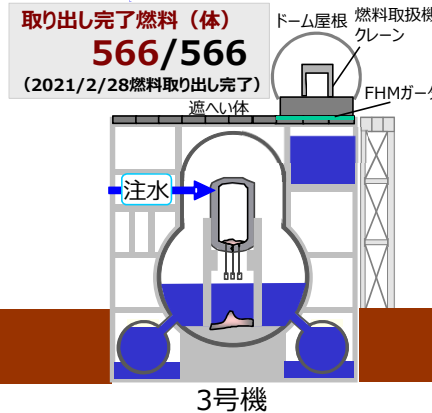
<堆積物除去後>



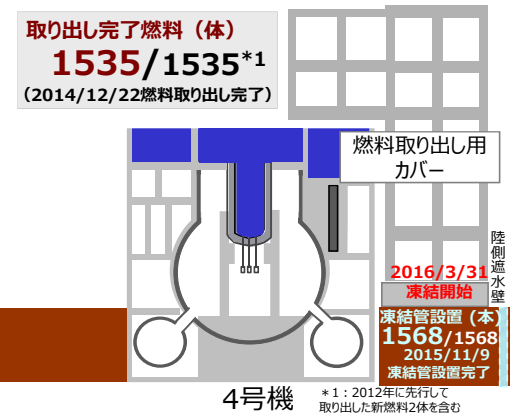
原子炉建屋(R/B) 1号機



2号機



3号機



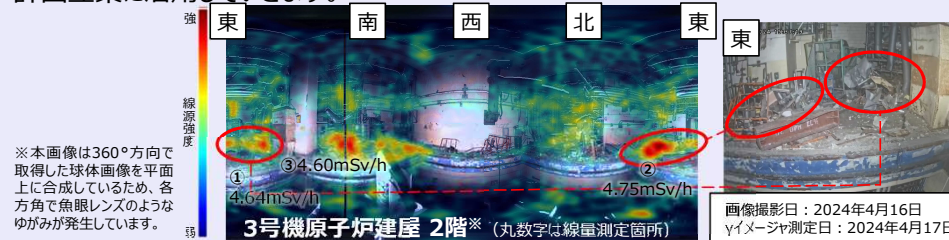
4号機

1号機 使用済燃料取り出しに向けた工事の進捗について

1号機原子炉建屋では、南面外壁からはみ出したガレキの撤去を行い、4月25日に作業が完了しました。作業中のダスト濃度に有意な変動は確認されませんでした。また、南面及び南面と隣接する西面の一部を除き、下部架構の設置が完了しました。現在、南面のアンカー削孔中であり、順次ベースプレートの設置を行っています。

3号機 原子炉建屋内調査の進捗について

3号機原子炉建屋（R/B）内の空間情報（アクセス性等）や線量率情報について4月16日～6月中旬目途で調査を行っています。今回の調査では、R/B南西エリアを対象とし、遠隔操作ロボットを活用して、映像、点群データや線量率データを取得しています。引き続き調査を継続するとともに、今後、取得した情報を元に、当該エリアでの線源箇所の特定や線量率分布の推定を行います。これらの情報は、今後の廃炉作業の検討や他エリアの調査計画立案に活用していきます。



作業点検の実施状況について

昨年発生した身体汚染や建屋からの水漏れ、所内電源停止等の発生を受け、5月から発電所の全作業に対して、作業点検を実施しています。これらの事案の再発防止に加え、発電所で行われる作業の安全性を、発電所が一体となって高めていくことが必要と考え、現場の状態を確認した上で、現場のリスク要因を抽出し、確認を終えたものから順次作業を再開しています。作業点検の中で改善事項や気づき等があった場合は適宜反映するとともに、今後も本取組を継続し、改善点を一つひとつ積み重ねていくことで、周辺環境並びに廃炉作業に携わる方々の安全確保を徹底していきます。

主な取組の配置図

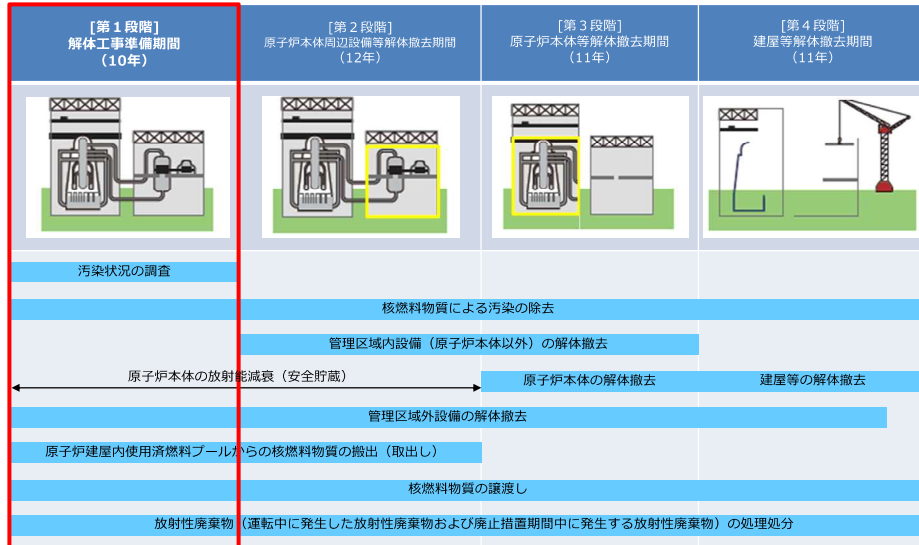


提供：日本スペースイメージング（株）2021.4.8撮影
 Product(C)[2021] DigitalGlobe, Inc., a Maxar company.

廃止措置実行計画2024について (2 / 2)

■本資料では第1段階（10年）の実行計画についてお示しいたします。

⇒ 2021年6月23日から着手



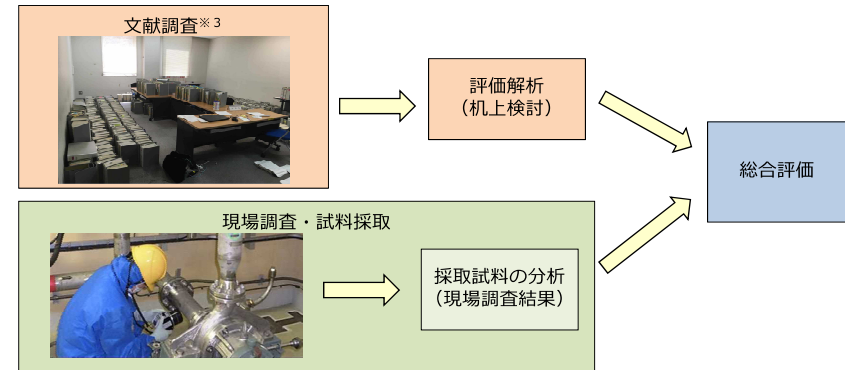
©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

TEPCO

汚染状況の調査 (1 / 4)

○目標工程

- ・放射化汚染※1 状況の調査および二次的な汚染※2 状況の調査（2021年度～2028年度）
 - 調査の主な流れは以下の通り



・総合評価（2025年度～2030年度）

- 放射化汚染状況および二次的な汚染状況の調査結果をもとに、解体撤去工事で発生する廃棄物量の推定評価の精度向上を図る

※1 放射化汚染：原子炉運転中の中性子照射により炉心部等の構造材が放射化して生成される汚染

※2 二次的な汚染：冷却材中の放射化した生成物が、機器及び配管の内面に付着する汚染

※3 文献調査：設計情報・運転・使用状況の記録・修理・改造等の記録等の収集

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

TEPCO

核燃料物質による汚染の除去 (1 / 3)

○目標工程

・初回除染工事（2021年度完了）

- 1～4号炉において、制御棒駆動機構補修室内の設備・機器の汚染の除去を実施



1号炉 除染作業



3号炉 除染作業

・初回除染以降の除染工事（2025年度以降）

- 汚染状況の調査における現場測定結果を踏まえて計画

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

TEPCO

【全体概要】放射線管理区域外（屋外）の設備の解体撤去 ¹⁶

- 屋外に設置している設備・機器については、安全確保の機能に影響を与えない範囲内で解体撤去工事を行います。
- 解体物のうち、有用物は可能な限り有効利用に努め、廃棄物は法規制に従い適切な処理・処分を行います。
- なお、第1段階では、放射線管理区域内での解体撤去工事は行いません。

放射線管理区域外（屋外）に設置されている設備（例）



主変圧器



軽油タンク

©Tokyo Electric Power Company Holdings, Inc. All Rights Reserved.

TEPCO

TEPCO

柏崎刈羽 原子力発電所

安全性を高める日々の取り組み



柏崎刈羽原子力発電所の概要

柏崎刈羽原子力発電所は、新潟県の柏崎市と刈羽村に立地しています。発電設備は合計7つあり、柏崎市側に1～4号機、刈羽村側に5～7号機を設置しています。



1～4号機



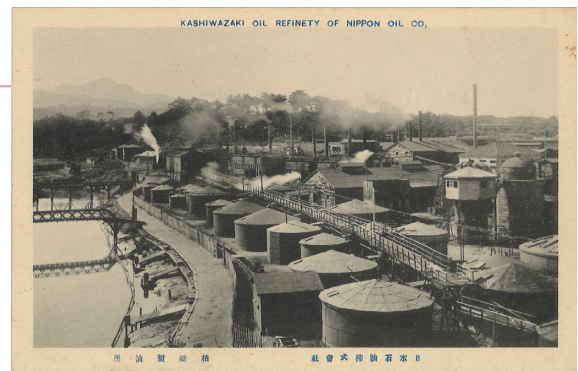
5～7号機

発電設備の概要

	1号機	2号機	3号機	4号機	5号機	6号機	7号機
電気出力	110万kW	110万kW	110万kW	110万kW	110万kW	135.6万kW	135.6万kW
建設着工	1978年12月	1983年10月	1987年7月	1988年2月	1983年10月	1991年9月	1992年2月
営業運転開始	1985年9月	1990年9月	1993年8月	1994年8月	1990年4月	1996年11月	1997年7月
原子炉形式	沸騰水型原子炉 (BWR)					改良型沸騰水型原子炉 (ABWR)	

この地域とエネルギーの関わり

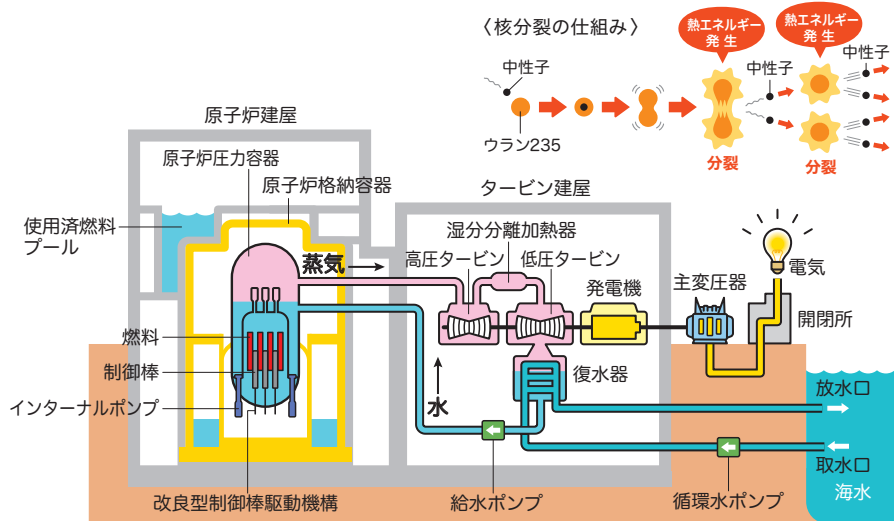
古くは「日本書紀」の668年の記述に「^{こしのくに}越国、^も燃ゆる^{つちも}土^{みず}燃ゆる水を^{けんず}献ず」とあり、新潟県で採れた燃ゆる水(=原油)が天智天皇に献上されていた記録があります。また、明治中期に西山油田の開発が始まると、柏崎に多くの製油所が建設され、昭和初期に石油生産のピークを迎え、その後2001年に閉鎖されました。柏崎刈羽原子力発電所は、1969年に柏崎市議会および刈羽村議会が誘致決議したことを受けて建設することとなり、1997年に全号機が完成しました。



日本石油株式会社 柏崎製油所
(出典：新潟県立歴史博物館/笹川コレクション)

原子力発電の仕組みについて

原子力発電は、火力発電と同様に蒸気を利用してタービンを回転させることで発電しています。火力発電では石油や石炭、液化天然ガスなどの化石燃料を燃やして蒸気を生み出すのに対し、原子力発電では「ウラン」と呼ばれる資源を核分裂させたときに発生する熱エネルギーを利用するところが一番の違いです。また、原子力発電はCO₂排出量を大きく抑制できる上に、使い終わった燃料を再利用できる特徴があります。一方で、放射線の嚴重な管理などが求められます。



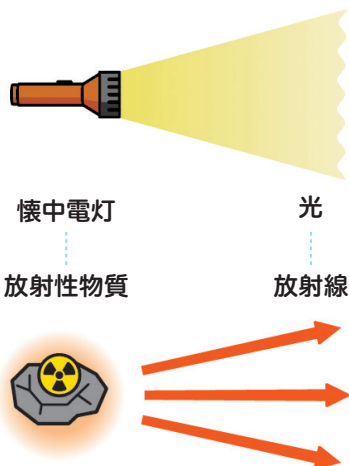
※改良型沸騰水型原子炉（6～7号機）の例

放射線について

放射線は自然界にも存在し、身の回りのさまざまなところで利用されています。原子力発電所では、発電により発生する放射線や放射性物質について、嚴重な管理を行っています。

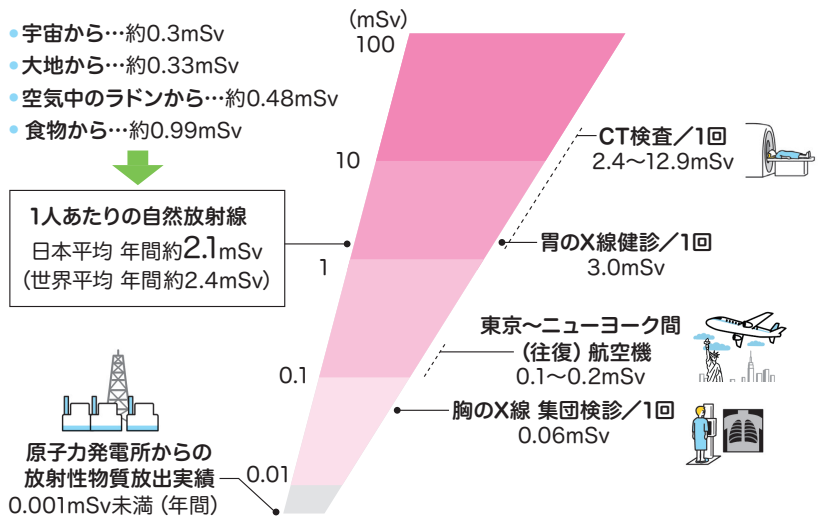
放射性物質と放射線

懐中電灯に例えると
懐中電灯が「放射性物質」、
懐中電灯から出る光が「放射線」です。



日常生活と放射線

放射性物質も放射線も自然界に存在しています。



出典：「原子力コンセンサス2024」電気事業連合会
※シーベルト (Sv)：放射線が人体に与える影響の度合いを表す単位
※単位は「mSv」(ミリシーベルト)。1mSv=1,000μSv

主な設備の構内配置図

--- 市と村の境界線
 - - - - 防火帯

総敷地面積：約420万m²（東京ドーム約90個分に相当 / 柏崎市：約310万m²、刈羽村：約110万m²）

①原子炉建屋・タービン建屋(1～7号機)



原子力発電所は、原子炉を設置している原子炉建屋、タービン・発電機を設置しているタービン建屋などから構成されています。原子炉建屋には、何らかの異常により発電所内の電源供給が停止した場合を想定し、発電所内で必要な電力を供給できる非常用ディーゼル発電機を設置しています。

⑨防潮堤(1～4号機側)



海拔5mの敷地に高さ約10mの鉄筋コンクリート製の堤防（敷地の高さに合わせて海拔15m）を約1.5km設置しています。
 ※地下深くの液状化対策について検討を進めています。

⑧空冷式ガスタービン発電機車 (GTG)

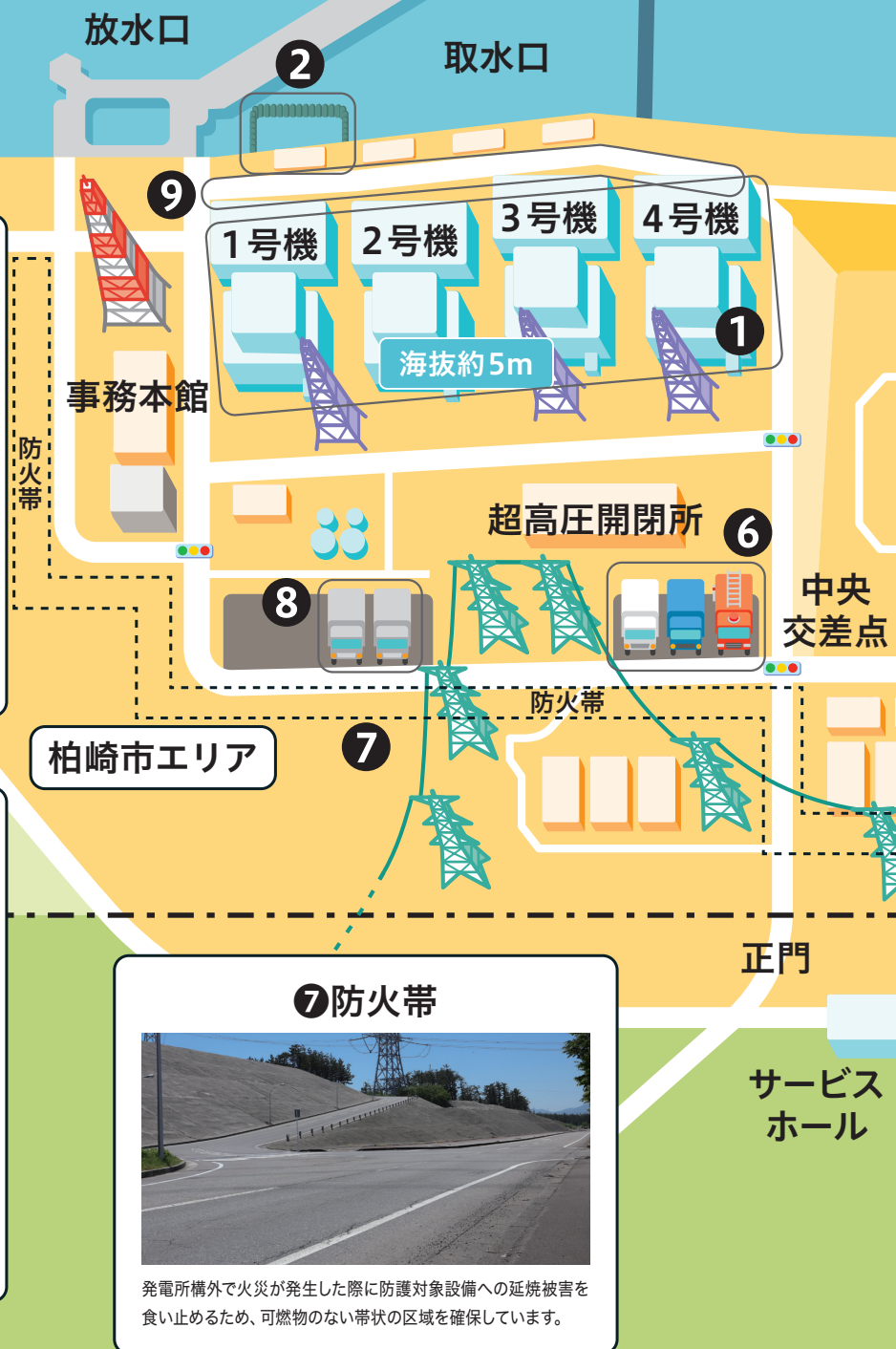


軽油の燃焼ガスでタービンを回して電気を作る発電機を搭載した車両。送電線からの電気や非常用ディーゼル発電機が使用できない場合の代替電源として、7号機横や海拔21mの高台に分散して配置しています。

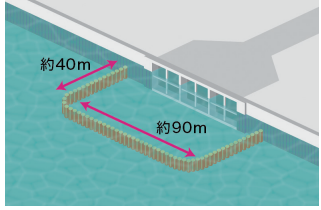
⑦防火帯



発電所構外で火災が発生した際に防護対象設備への延焼被害を食い止めるため、可燃物のない帯状の区域を確保しています。



②貯留堰



津波による引き波が発生した際にも冷却用の海水を確保するため、取水口の海側に貯留堰を設けています。

南防波堤

北防波堤



③防潮堤(5～7号機側)



海拔12mの敷地にセメント改良土で高さ約3mの盛土をした堤防(敷地の高さ合わせて海拔15m)を約1km設置しています。

④緊急時対策所



重大事故が発生した場合に、中央制御室の支援のほか、適切な事故対応を講じるための対策本部の活動拠点として設置しています。

⑤淡水貯水池



原子炉などに供給する冷却水の水源を強化する目的で、海拔約45mの高台に設置しました。貯水容量は約2万トン。

⑥大容量送水車・消防車・電源車・代替熱交換器車



大容量送水車



消防車



電源車



代替熱交換器車

津波の影響を受けない海拔35mの高台のほか、発電所構内に分散して配置しています。また、設置場所の地震対策を図るとともに、保管場所からプラントまでのアクセスルートについても強化しています。

刈羽村エリア

海拔約65m

展望台

海拔約55m

5

海拔約45m

7号機 6号機 5号機

海拔約12m

取水口

放水口

防火帯

「安全」への取り組み

「災害に強い発電所」の
実現を目指して、
何重もの安全対策を
講じています。



柏崎刈羽原子力発電所
いながき たけゆき
所長 稲垣 武之

事故を経験したからこそ 絶対に妥協はしない

福島第一原子力発電所の事故では、復旧班長として事故の収束にあたりましたが、そこには多くの反省と教訓がありました。

設備面では「津波に対する防護が脆弱であった」「すべての電源を失った場合の電源復旧や、原子炉等への注水・冷却のための手段が十分に準備されていなかった」「炉心損傷後の水素爆発や、放射性物質の放出を防ぐ手段が十分に準備されていなかった」などが挙げられます。また、「緊急時の体制と手順が十分ではなかった」ことも大きな教訓として残りました。とくに、私の指示で「部下を非常に危険な状況に陥らせてしまった」という点は、今でも涙が出てくるほど痛恨の極みです。「日頃の研鑽なくして事故対応は不可能」「福島第一原子力発電所の事故を直接経験しているからこそ、絶対に妥協しない」との想いで、設備対策だけでなく、緊急時を想定した訓練など運用面での対策も講じています。

何重もの安全対策を講じ、 さまざまな訓練で対応力を強化

設備面では、**新規制基準に基づく「深層防護」**に対応し、**何重もの安全対策を講じています**。例えば「電源」だけを見ても、「外部電源」は複数系統・複数回線を備えるほか、号機間融通に対応する「非常用ディーゼル発電機」を各号機に設置。さらに、それらが使えなくなったとしても「ガスタービン発電機車」や「電源車」が分散配置されています。

運用面でも、あらゆる事象を想定した「緊急時の総合訓練」を毎月実施。さまざまな条件で繰り返し行っており、シナリオの詳細を事前に参加者に明かさず実施する「ブラインド訓練」を行うことで、応用力や判断力を養っています。また、所員が直営で現場対応できるような体制を整備し、消防車や電源車の接続訓練、ガレキ撤去・放水などの個別の現場訓練も繰り返し実施しています。これらにより、**「災害に強い発電所」の実現を目指しています**。

みんなが誇りを持って 生き活きと働く発電所へ

これらに加えて、より良い発電所にしていくために、協力企業の皆さんも含めた発電所で働くすべての人々の“目指す姿”や“決意・約束”を「柏崎刈羽原子力発電所の志」としてまとめました。「**いい発電所**」を実現するためには、**働く人たちがコミュニケーションを取りあい、互いに信頼しあうことが不可欠です**。私も「あいさつ運動」「褒める仕組み」「対話会」「日々のブログ発信」などを行っていますが、所員や協力企業の皆さんもコミュニケーションにこだわった改善活動を展開してくれています。そして、「**発電所をマイブランドとしてとらえ、より良くしていこう**」という意識を持ち始めてくれています。

発電所で働くすべての人々が自信を持って、「この発電所の運営は大丈夫だ」と胸を張って言えるよう、全員参加型の改善活動を続けていきます。そして、「**地域を愛し、地域に愛される発電所**」となるよう、この発電所を運営していきます。

福島第一原子力発電所事故の経緯と教訓

2011年3月11日14時46分

地震発生（震源地：三陸沖 マグニチュード9.0）

原子炉自動停止

止める

・運転中の1、2、3号機の原子炉が自動停止

送電設備が損傷し外部電源を喪失

・受電設備の損傷や送電鉄塔の倒壊が起こり、外部からの電源を失う

非常用電源が起動

冷やす

・非常用ディーゼル発電機が起動し、原子炉等へ注水を継続

2011年3月11日15時35分

津波襲来

原子炉等の冷却に必要な電源を失う

冷やす

・津波によって非常用ディーゼル発電機などの重要な設備が浸水し、機能を喪失

原子炉等を冷やす機能を失う

冷やす

・原子炉への注水が停止したため燃料の温度が上昇し、熔融・水素の発生

圧力容器の損傷、格納容器の破損

閉じ込める

・1、2、3号機の格納容器が破損
・放射性物質や水素が原子炉建屋に漏えい

水素爆発による建屋破損（1、3、4号機）

閉じ込める

・1、3、4号機で水素爆発が起き、原子炉建屋が大きく破損

放射性物質の環境への放出（1、2、3号機）

大規模な土壌汚染

事故の教訓

敷地内に津波が侵入するなど、津波に対する防護が脆弱でした

→津波に対する対策は8ページへ

安全対策1

すべての電源を失った場合の電源復旧や原子炉等への注水、冷却のための手段が十分に準備されていませんでした

→電源・注水設備の増強は9、10ページへ

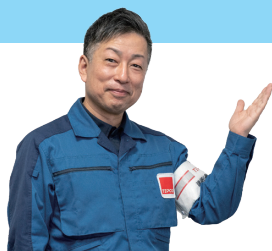
安全対策2・3

炉心損傷後の水素爆発や放射性物質の放出を防ぐ手段が十分に整備されていませんでした

→放射性物質の拡散を抑制する対策は11ページへ

安全対策4

1 津波・地震から守る



柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部
建築グループ グループマネージャー
佐藤 亮治

津波が発生しても、
建屋内への海水の流入を防げるように
設備の増強を行っています。

1 津波による衝撃や浸水を防ぐために

15mの津波を想定した「防潮堤」を東日本大震災後に建設しました。さらに、原子炉建屋への浸水や波の力による衝撃を防ぐため、建屋周辺に「防潮壁」「防潮板」を設置しました。緊急時に原子炉を冷却する装置や非常用電源などがある重要エリアでは、「水密扉」を採用するなど浸水を防ぎます。



発電所周辺の津波に関する文献調査や活断層評価結果などを踏まえてシミュレーションした結果に基づき、考えられる最大級の津波を想定しています。



柏崎刈羽原子力発電所で想定される津波の高さは約7～8mですが、海拔12mの敷地にセメント改良土で高さ約3mの盛土をし、海拔15mの防潮堤を建設しました(5～7号機側)。



浸水を防げなかった場合を想定し、事故時に原子炉を冷却する装置や非常用電源などが設置されている重要エリアは水密化を図っています。

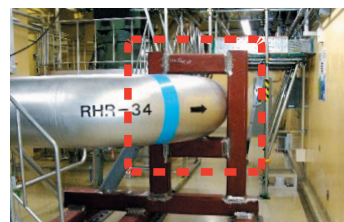


重要エリアでは、配管やケーブルなどが壁や床を貫通している部分をシリコンゴムで塞ぐなどの止水処理も施しています。

地震対策について

原子炉建屋は、地震の揺れを受けにくい強固な岩盤上に設置しています。また、2007年7月の新潟県中越沖地震を受け、耐震強化を図っています。さらに、福島第一原子力発電所事故後の新規制基準に適合するよう、耐震評価・工事を行っています。

具体例としては、建屋内の配管・電線管などのサポート（支え）を追加・強化し、建屋の屋根を支えるトラス（鉄骨構造）には、鋼材を追加するなどの強化をしました。



建屋内の配管などのサポートを各号機1,400～3,000箇所追加

2 電源を絶やささない



柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部
電気機器グループ グループマネージャー
皆吉 徳文

既存の電源が失われた場合に備え、
多重・多様に電源設備を
配備しています。

代替電源を複数用意し、津波の影響を受けない場所に分散配置

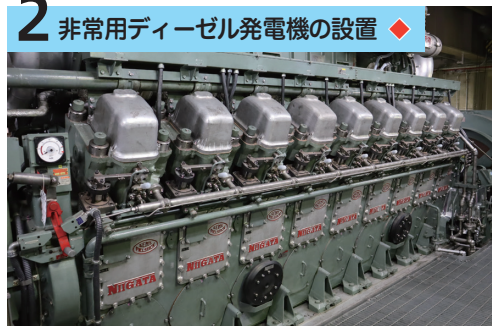
発電所内のすべての電源が失われた場合を想定し、原子炉を冷却する機器などへ電気を供給するための代替電源を複数用意しています。さらに、代替電源は津波の影響を受けない場所に分散配置しています。

1 外部電源からの供給 ◆



発電所外部から必要な電力を受電できるように、外部電源(送電線)を5回線用意しています。

2 非常用ディーゼル発電機の設定 ◆



外部電源が喪失した場合に起動し、原子炉を安全に停止するための電力を供給します。隣接号機への供給も可能です。

3 空冷式ガスタービン発電機車(GTG)の配備 ☆



軽油の燃焼ガスでタービンを回して電気を作る発電機を搭載しています。発電所構内の津波の影響を受けない場所に配置しています。

4 電源車の配備 ☆



プラントの交流電源が失われた際に、重要機器へ電源を供給します。機動性に優れ、必要なときに必要な場所へ移動して電気を供給できます。

直流電源の増設について

原子力発電所では、主にプラントの状態監視・制御で直流電源を用いています。そのため、建設時から直流電源設備として複数の大容量蓄電池を備えています。これに加えて、浸水の影響を受けにくい海拔15m以上の原子炉建屋の高所にも別の大容量蓄電池を増設し、信頼性を高めています。



3 原子炉を冷やし続ける



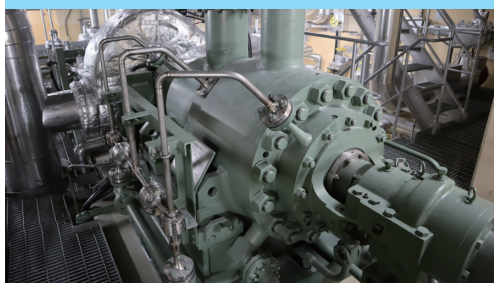
柏崎刈羽原子力発電所 第一保全部
タービングループ グループマネージャー
栗田 隆

さらに、電源をすべて失っても原子炉を冷却し続けるため、多重・多様な注水設備や除熱設備を配備しています。

■ 消防車や貯水池を構内に配備

発電所がすべての電源を失い、電動の注水設備が使えなくなった場合に備え、さまざまなタイプのポンプ・設備を用意し、原子炉へ注水します。また消防車については、発電所構内に分散配置しています。これにより、何らかの要因により同時に使用不能となることを防いでいます。

1 非常用炉心冷却装置 (ECCS) の設置 ◆



電源駆動のポンプや原子炉の蒸気を駆動源としたポンプを用いて原子炉へ注水します。

2 高圧代替注水系 (HPAC) の設置 ☆



高圧系のECCSが起動・運転継続できない場合、あるいはすべての電源を失った場合に、原子炉の蒸気を駆動源にしてポンプを回し原子炉へ注水します。

3 消防車の配備 ☆



原子炉建屋に接続し、原子炉や使用済燃料プールに注水を行います。同時に使用不能とならないよう、分散配置しています。

4 代替熱交換器車の配備 ☆



既存の除熱設備が使えなくなった場合に、原子炉や原子炉格納容器内を冷やす設備です。これを用いることで、少なくとも約10日間は大気への放射性物質の放出を遅らせることができます。

淡水貯水池について

原子炉や使用済燃料プールへの注水用の水源のさらなる確保として、海拔約45mの高台に淡水貯水池を設置しました。

貯水容量は約2万トンで、6~7号機の原子炉や使用済燃料プールに淡水を7日間以上供給することができます。



4 放射性物質の拡散を抑制



柏崎刈羽原子力発電所 第二保全部
原子炉グループ グループマネージャー
下迫田 隆太

それでも万が一の事故が起きた場合は、放射性物質の拡散を抑制するために
いくつもの設備で対応します。

■ 建屋の水素爆発を防ぐとともに放射性物質の放出・拡散を抑制

炉心損傷によって炉心から発生した水素が原子炉建屋に漏れいた場合に備え、水素濃度の上昇を抑える「原子炉建屋水素処理設備」を設置しています。また、事故が発生した場合でも、大気中へ放出される放射性物質を大幅に低減し、敷地外への拡散を抑制するために、「フィルタベント設備」を設置しています。

1 原子炉建屋水素処理設備の設置 ☆



電気を使わずに触媒の働きにより、水素と酸素を水蒸気に変え水素濃度の上昇を抑えます。原子炉建屋最上階に設置しています。

2 フィルタベント設備の設置 ☆



格納容器内に滞留するガスをフィルタベント設備を通して大気に逃がすことで、粒子状放射性物質および無機よう素の99.9%以上を除去します。また、よう素フィルタにより有機よう素の98%以上を除去します。

3 大容量放水設備の配備 ☆



放水砲



大容量送水車

原子炉や使用済燃料プール内から放射性物質が放出される恐れがある場合、放水砲と大容量送水車を接続し原子炉建屋の開口部に放水します。大容量送水車は、最大で毎分2万リットル送水でき、タンクローリーからの燃料補給で連続運転が可能です。タンクローリーからの燃料補給が受けられない場合は、送水車に付属している燃料タンクを用いることで約12時間放水を継続できます。

避難支援の拡充について

柏崎市内に避難支援チームの拠点を設置し、防災や避難支援業務を専門とする社員が常駐しています。

当社は、2020年10月に新潟県と締結した「原子力防災に関する協力協定」に基づき、平時から要員や資機材に関する協力体制を構築するとともに、新潟県が実施する原子力防災訓練の振り返りに協力することで、協力体制の改善などを行っています。



発電所の安全性をさらに高めるために

訓練

過酷な事故にも対応可能な緊急時の体制と手順を整備するとともに、あらゆる訓練を繰り返しています。

総合訓練

さまざまな状況を想定した訓練を繰り返す、緊急時対応能力を強化

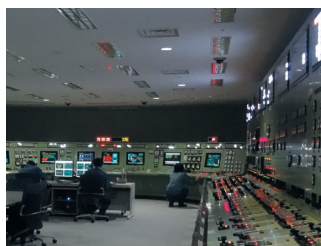
発電所の緊急時組織全体で行う「総合訓練」を定期的実施しています。総合訓練では、津波や地震などの自然災害や過酷事故を想定した訓練を行うほか、あらかじめシナリオを知らせないブラインド訓練を実施することで、組織と社員一人ひとりの緊急時における対応力を強化しています。



個別訓練の一例

運転シミュレータ訓練

実際の中央制御室と同じ運転操作が可能な運転シミュレータを用いて、運転員のさらなる技術力の向上などを図っています。



ガレキ撤去訓練

津波によるガレキの散乱や地震による道路の段差発生を想定し、大型特殊免許を持った所員が重機の操作訓練を実施。復旧作業に必要な通路などの迅速な確保に役立っています。



電源供給訓練

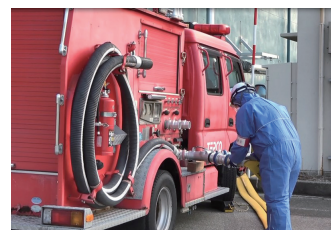
緊急時の対応に必要な電源を素早く供給できるようにするための訓練を実施しています。

(※写真は空冷式ガスタービン発電機車の起動訓練)



注水接続訓練

緊急時に備えて原子炉へ迅速かつ安定した注水を実施できるようにするため、消防車を使った注水接続訓練を実施しています。



INTERVIEW

信頼獲得のために、世界トップレベルを目指す。



柏崎刈羽原子力発電所
第二運転管理部
当直長 菅波 盛己

原子炉や発電設備の運転を担う私たちは、運転シミュレータなどを用いた過酷事故訓練を日々重ねています。福島第一原子力発電所の事故を起こした私たちであるからこそ、「世界トップレベルの技術力、対応力が求められる」ととらえ、さらなる高みを目指す必要があると考えています。



柏崎刈羽原子力発電所
第二運転管理部
運転員 小出 南

現場の巡視・点検などを行うオペレーターとして、設備の声に耳を傾け、ヒューマンエラーを防止するための手順を徹底するよう心がけています。また、火力発電所での研修でリアルな感覚や緊張感を体感しています。自分自身が成長することで、原子力発電所の信頼獲得にもつなげていきたいです。

セキュリティ

「IDカードの不正使用」などの警備上の問題を起こさぬよう、核物質を適切に護るための改善を進めています。

核物質を適切に護るための改善の取り組み

設備と運用の両面で改善活動を推進

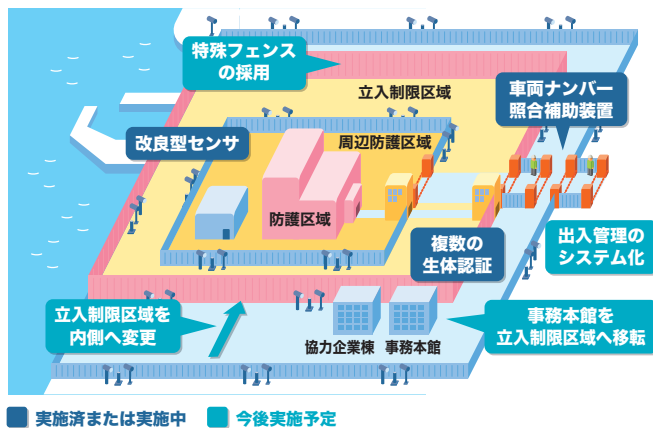
IDカード不正使用などの核物質防護^{*}に関わる問題に対し、設備と運用の両面から、警備の精度を上げるための改善活動を進めています。

警備に関しては、「現場の気づきを積極的に共有して迅速に見直す」という取り組みを発電所全体で進めています。

さらに、その取り組みに緩みが生じないよう、社長直属の組織（モニタリング室）でチェックしています。

※核物質防護：原子力発電所への悪意を持つ者の侵入や妨害・破壊行為などを防ぎ、核物質の盗取や悪用を防ぐこと

< 設備面での取り組み(設備の強化) >



< 運用面での取り組み >



モニタリング室による社員の行動観察の様子



発電所長と協力企業の方々との核物質防護に関する対話会

INTERVIEW

発電所の「セキュリティ」を高める自覚と誇りを胸に。



柏崎刈羽原子力発電所
セキュリティ管理部
部長 堀川 健

核物質防護管理者として常に自身自身に問いかけ、些細な気づきも放置せずに対応していくことが、セキュリティの向上には不可欠だと考えます。さらに、発電所で働くすべての人がテロ対策や警備業務を理解することにより、地域の皆さまから安心していただける発電所を目指します。



柏崎刈羽原子力発電所
セキュリティ管理部
核セキュリティ施設
運用グループ
高橋 康

発電所のセキュリティを高めるためには、警備する側だけでなく警備される側の所員や協力会社の皆さんが、「自らを証明する責任」を持ち続けていただくことも欠かせません。働くすべての人々が協力しあうことで、この発電所のセキュリティをさらに向上させたいと思っています。



日本原子力
防護システム(株)
新潟事務所
柏崎刈羽防護隊
品田 新

さらなるセキュリティの向上を目指して常に改善を図るのはもちろん、警備員にも入域者にもストレスのない仕組みづくりに努めています。また、結果はもちろん過程にもこだわり、企業の垣根を越えてお互いを正し高めあえるような、協調性にも優れた発電所にしていきたいです。

発電所の安全性をさらに高めるために

コミュニケーション

社内外のコミュニケーションを活性化することで、安全最優先な発電所運営を実現します。

発電所内のコミュニケーション

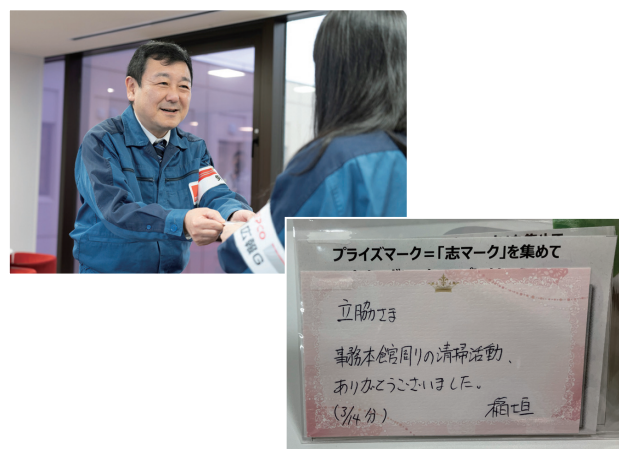
あいさつ運動

コミュニケーションの基本は“あいさつから”と考え、2022年4月に所長が、正門などで「あいさつ運動」をスタート。今では、所員はもとより協力企業各社の所長なども参加し、コミュニケーションの活性化を図っています。



サンクスカード

“褒める仕組み”の構築と“感謝の輪”を広げたいという思いから、「サンクスカード」の運用も進めています。所員や協力企業の皆さんに所長の手書きカードなどを贈呈し、感謝の気持ちを伝えています。



INTERVIEW

褒める文化・感謝の文化の定着に向けて。



新潟環境サービス(株)
柏崎事業所
所長 田辺 親

私は「良好なコミュニケーションの先に良い仕事がある」と考えています。柏崎刈羽原子力発電所全体でコミュニケーションの改善が進み、所内であいさつを交わしたり相談しやすくなったりと、協力企業を含む互いの関係性が「より近くなった」と感じています。私としても、褒める文化・感謝の文化をさらに根づかせていきたいと思っています。

社外とのコミュニケーション

地域の活動などに参加し、その想いを業務に生かす

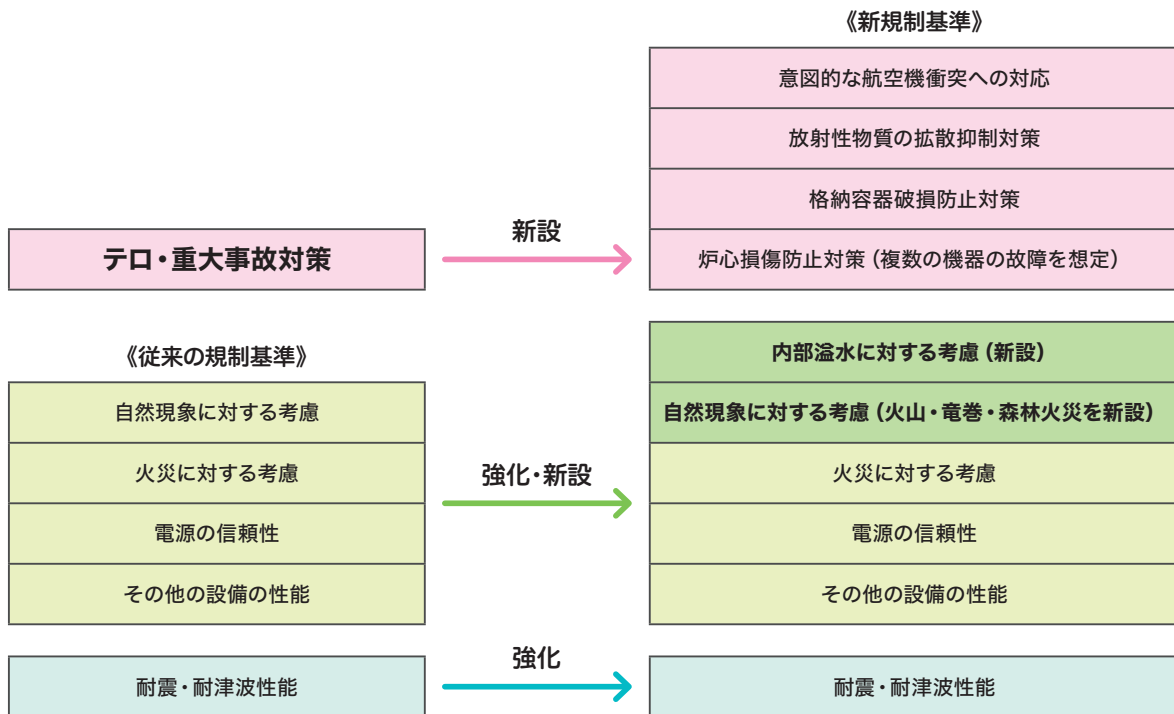
従来から発行している紙の広報誌に加えて、動画配信も開始。これからも地域の皆さまの「知りたいこと」にこだわって情報を発信していきます。

また、所員全員が地域の皆さまと一緒に、地域のイベントや地域貢献活動に参加させていただいています。地域の皆さまの想いを直に感じ、業務に生かすことができる貴重な場となっていることから、こうした接点をより一層増やしていきたいと考えています。



新規制基準とそのポイントについて

2013年7月に施行された新規制基準では、地震・津波などに対する従来の基準が大幅に強化され、これまで事業者が自主的に実施してきた「重大事故対策」「テロ対策」も規制の対象となりました。



新設された「テロ・重大事故対策」については、例えば、意図的な航空機衝突などにより、原子炉を安全に保つための電源や注水機能が失われた場合でもバックアップできるように、体制や手順書を整備するとともに、さまざまな役割の可搬型設備を配備し、緊急時に動かせるよう日々訓練を行っています。

また、ミサイルが撃ち込まれるなどの軍事攻撃は脅威であると考えており、国が防衛・外交の観点から対策を講じています。さらに、当社は、セキュリティ強化のため、警察や海上保安庁と連携した合同訓練を定期的を実施するとともに、不審者の侵入防止や警戒などの措置を常時講じています。そのほか、警察・消防OBなどの外部人材を積極的に登用し、その知見を改善につなげるなど、対応力向上に努めています。



緊急時にも正確かつ速やかに動かせるようにするため、ホイールローダによるガレキ撤去（左）や代替熱交換器車の接続（右）など、可搬型設備の操作・接続訓練を日々行っています。

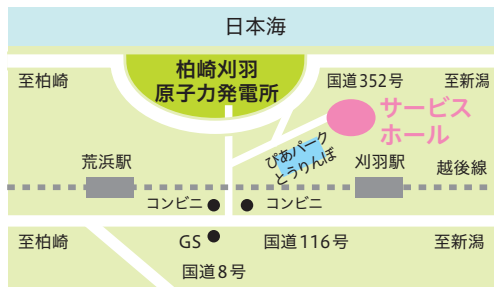
発電所の透明性を高めるための情報発信

サービスホール

柏崎刈羽原子力発電所を身近に感じていただくため、地域の皆さまの憩いの場としてご利用いただいています。展示館(エコロンの森)では、原子力発電の仕組みや発電所の安全対策などのご案内はもちろんのこと、小さなお子さま連れでもくつろいでいただけるスペースもご用意しています。ぜひご活用ください。



所在地/新潟県刈羽郡刈羽村大字刈羽4236-1
電話/0120-344-053(9時~17時:ご予約専用ダイヤル)
開館時間/9時~16時30分
休館日/4月~11月は毎月第1水曜日、12月~3月は毎月第1・第3水曜日、年末年始
入館料/無料
駐車場/有(大型バス10台、普通車40台)
その他/Free Wi-Fi(5言語対応)、全館バリアフリー、館内禁煙



広報活動

コミュニケーションブース

新潟県内各地で「東京電力コミュニケーションブース」を開催。発電所の状況や日本のエネルギー事情などについてご説明するとともに、ご意見を伺っています。



コミュニケーションブース

情報発信

発電所の取り組みやトラブルなどは、ホームページへの掲載などでお知らせするとともに、記者会見を定期的に開催し、ご説明しています。



記者会見

各種メディア

ホームページ

柏崎刈羽原子力発電所の概要や最新情報、安全対策への取り組みなどを掲載しています。

詳しくはこちらから



KKチャンネル!

柏崎刈羽原子力発電所の日々の取り組みや、働く人の想いをお伝えするための動画ライブラリーです。

詳しくはこちらから



Instagram

柏崎刈羽原子力発電所の公式アカウント。発電所の日常や地域の風景をテーマに写真を投稿しています。

詳しくはこちらから



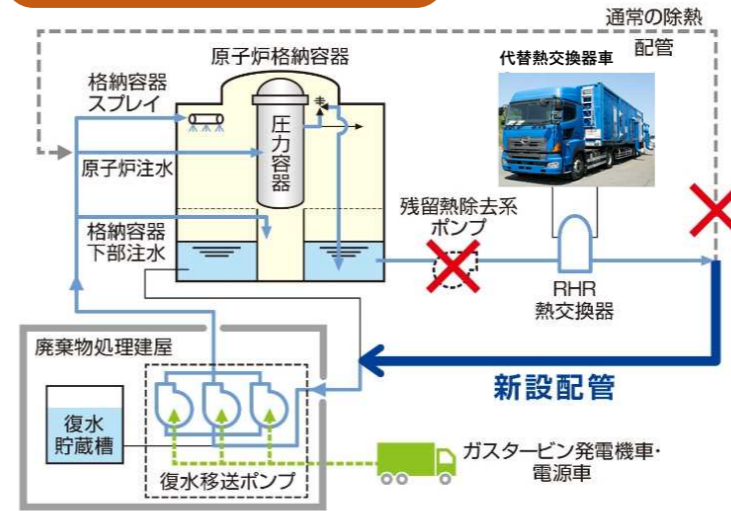
1. 多重化・多様化した安全対策の一例 (事故前・事故後)

	自然災害による事故を起こさないための対策			原子力災害に進展させないための対策		
	地震	津波	その他	電源	注水・除熱	その他
<p>以前からの主な対策 (事故前)</p> <p>福島第一原子力発電所事故</p>	<p>岩盤上に設置</p> <p>表層地盤 岩盤</p> <p>排気筒の補強</p> <p>追加した柱 従来の柱</p>	<p>建屋建設当時の津波評価 (津波高さ約3m)</p>	<p>水圧制御ユニット</p>	<p>外部電源 (5回線)</p> <p>非常用ディーゼル発電機※2</p> <p>※2 各号機に3台ずつ設置 号機間での融通も可能</p>	<p>非常用炉心冷却系 (注水)</p> <p>残留熱除去系 (除熱)</p>	<p>可燃性ガス濃度制御系再結合装置※4</p> <p>※4 格納容器内の水素濃度・酸素濃度の上昇を抑制</p>
	<p>事故後の新規規制基準を踏まえ追加・強化した主な対策 (事故後)</p>	<p>基準地震動の見直し</p> <p>配管サポートの追設</p> <p>液状化対策※1</p> <p>※1 6号機軽油タンクの例</p>	<p>津波の再評価 (津波高さ約7~8m)</p> <p>防潮堤</p> <p>海抜 15m</p> <p>水密扉</p> <p>取水槽閉止板補強</p> <p>止水工事</p> <p>貯留堰</p> <p>約40m 約90m</p>	<p>固縛装置 (竜巻対策)</p> <p>防火帯 (森林火災対策)</p> <p>5~7号機側空冷式ガスタービン発電機車</p> <p>1~4号機側空冷式ガスタービン発電機車</p> <p>地上送電ルート</p> <p>地下送電ルート</p> <p>電源車</p> <p>直流電源増設※3</p> <p>※3 重要な機器の制御や監視計器の電源に用いる</p>	<p>高圧代替注水系 (注水)</p> <p>消防車 (注水)</p> <p>代替熱交換器車 (除熱)</p> <p>淡水貯水池 (水源)</p>	<p>水素処理設備 (水素爆発防止)</p> <p>ブローアウトパネル閉止装置 (被ばく抑制)</p>

2. 格納容器の冷却

格納容器の温度や圧力が上昇した場合の備え

代替循環冷却設備



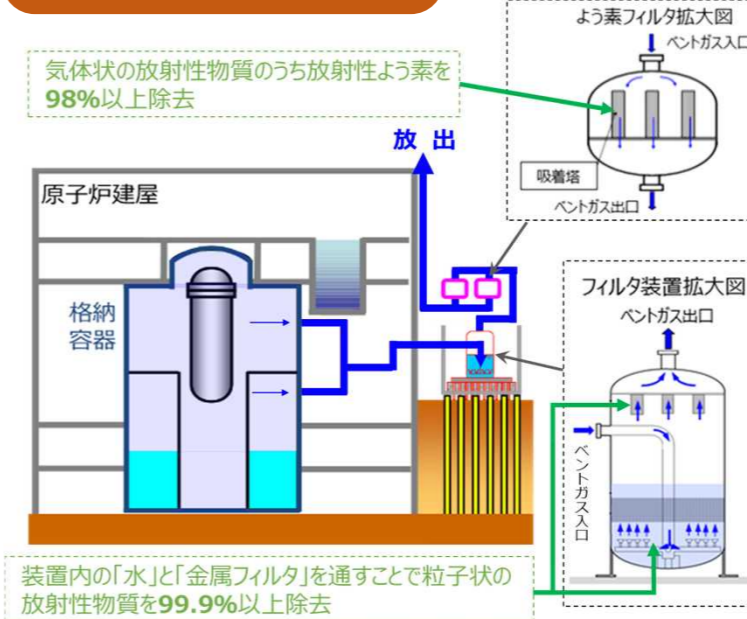
放射性物質の放出を
10日間程度回避

- ・短時間での放射性物質の外部放出や格納容器破損を回避
- ・その間に放射性物質の放出を防ぐための復旧活動を実施

3. 放射性物質の放出抑制

それでも格納容器内の可燃性ガス (水素、酸素) の濃度が上昇した場合の備え

フィルタベント設備



放射性物質を
最大限取り除き
大気への放出を抑制

- ・粒子状放射性物質99.9%以上除去
- ・気体状の放射性ヨウ素98%以上除去

建屋から放射性物質が漏れいする場合は

放射性物質を大量の水で地上にたたき落とす

大容量放水設備

